平成11年度

三重県埋蔵文化財年報

2000・11

三重県埋蔵文化財センター

はじめに

埋蔵文化財は、私たちの祖先がその時代を生きた証であり、また、当時の生活の有り様を今に伝える貴重な財産であります。しかし、近年の著しい開発事業の増加に伴い、数多くの埋蔵文化財が発掘調査され、そして消滅してゆきました。しかし一方で、発掘調査により発見された新たな事実は、歴史に対する認識、常識を立証するものであったり、また覆すものであったりして、私たちのロマンをなおいっそうかき立ててくれます。平成１１年度も、県内各地で開催された現地説明会や展示会等を通じて多くの方々に歴史に対する興味を、また、埋蔵文化財保護に対するご理解を深めていただくことができたものと思っております。

この冊子は、三重県内で平成１１年度に実施されました各種の発掘調査と当埋蔵文化財センターの事業内容を簡単にまとめたものですが、今後の埋蔵文化財保護と活用の一助として、ご活用いただければ幸いに存じます。

なお、平成12年４月１日から施行されました「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」及びこれに伴う文化財保護法等の改正により、埋蔵文化財保護行政を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。当埋蔵文化財センターといたしましても、なおいっそう市町村とのパートナーシップを高めるとともに、あらゆる機会を通して埋蔵文化財の保護・活用に努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本冊子の作成にあたり、ご協力をいただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成１１年１０月

三重県埋蔵文化財センター

所長　藤　澤　英　三

例　　言

1　この冊子は、平成11年度における三重県内の発掘調査の概要と三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。

2　「Ⅱ 平成11年度の発掘調査」については、平成11年度の三重県下における発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター担当の発掘調査成果および、県内市町村担当の発掘調査成果もあわせて収録した。なお、各遺跡の発掘調査の概要については、それぞれの発掘調査担当者の協力を得た。

3　本冊子の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、資料普及グループが行った。

目　　次

Ⅰ　組織及び業務体系 ---------- 1

Ⅱ　平成11年度発掘調査 ---------- 3

1　発掘調査一覧 ---------- 3

2　発掘調査の概要 ---------- 7

Ⅲ　埋蔵文化財保護体制の充実 ---------- 42

1　各種会議 ---------- 42

2　埋蔵文化財発掘技術者研修 ---------- 43

3　文化財保護に関する指導・協力 ---------- 44

Ⅳ　資料の整理・保管・公開 ---------- 49

1　資料の整理・保管 ---------- 49

2　科学的保存処理 ---------- 49

3　資料の公開 ---------- 49

4　保管遺物等の貸出・写真等の掲載及び閲覧許可 ---------- 52

5　保管遺物の長期貸出 ---------- 54

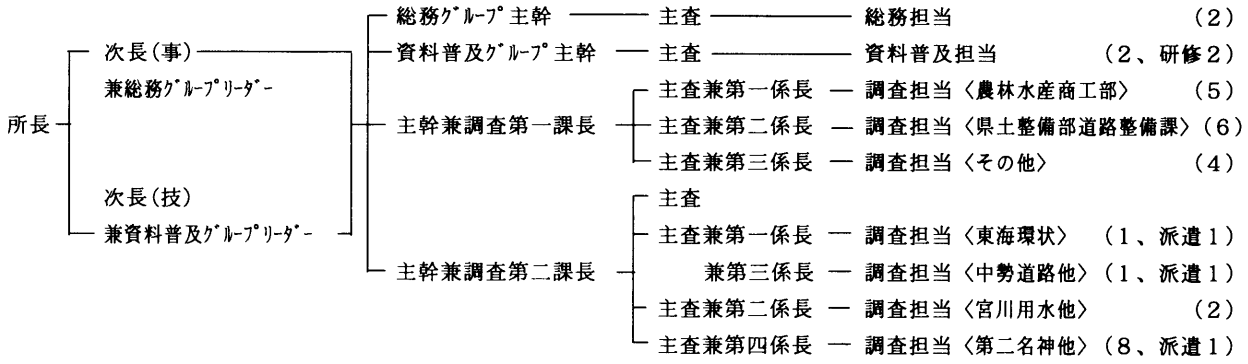
Ⅴ　県・市町村別の発掘調査件数及び面積の実績 ---------- 55

《 付編 》

1　三重県埋蔵文化財調査員名簿 ---------- 56

Ⅰ　組織及び業務体系

〔組　織〕



職員数５２名　（兼務６名、専任４１名、派遣３名、研修２名）

〔分掌事務〕

総務グループ

1　公印の管理に関すること
2　職員の身分及び服務に関すること
3　予算及び経理に関すること
4　給与及び旅費等の支給に関すること
5　契約及び入札事務に関すること
6　施設、設備の保守管理に関すること
7　文書の収発に関すること
8　職員の健康、福利厚生に関すること
9　防災管理に関すること
10　その他他課に属さないこと

調査第一課

1　埋蔵文化財保護にかかる生涯学習課文化財保護室ならびに関係部局との連絡調整に関すること
2　県関係公共事業における埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること

調査第二課

1　一般国道475号東海環状自動車道に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
2　一般国道23号中勢道路に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
3　一般国道42号松阪多気バイパスに関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
4　国営宮川用水第二期土地改良事業に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
5　近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
6　近畿自動車道名古屋関線(亀山亀山間)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
7　近畿自動車道尾鷲勢和線(紀勢勢和間)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
8　県道四日市朝日線(インター取り付け）に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
9　建設省、農林水産省、日本道路公団との調整協議と事務処理に関すること

資料普及グループ

1　遺物収蔵庫の管理に関すること
2　整理済み出土品の収蔵及び保管に関すること
3　遺跡及び遺物の実測図・写真等の整理及び保管に関すること
4　関係図書等の整理及び保管に関すること
5　遺跡台帳・遺跡地図の整備及び保管に関すること
6　出土品の洗浄・注記・接合・復元・実測等に関すること
7　埋蔵文化財展・埋蔵文化財発掘調査速報展に関すること
8　遺跡及び遺物等資料の貸出、掲載許可等に関すること
9　センター通信・研究紀要・埋蔵文化財年報等の刊行に関すること
10　埋蔵文化財行政調査等に関すること
11　市町村の埋蔵文化財調査・文化財展等の指導及び協力に関すること
12　埋蔵文化財発掘調査技術の研修に関すること
13　埋蔵文化財センター内外の各種会議に関する

〔職　員〕

所　長	大井 與生（斎宮歴史博物館館長本務）			
次　長(事務)	三井 利男（斎宮歴史博物館次長本務）			
次　長(技術)	山澤 義貴			
総務ｸﾞﾙｰﾌﾟ	主幹	広瀬 雅晴（斎宮歴史博物館本務）	主事	尾崎 嘉春（斎宮歴史博物館本務）
	主査	牛谷 和代（斎宮歴史博物館本務）	主事	長谷川 登（斎宮歴史博物館本務）
資料普及ｸﾞﾙｰﾌﾟ	主幹	田阪　仁	主事	松葉 和也
	主査	前川 嘉宏	研修員	山口 聡嗣
	主事	竹田 憲治	研修員	打田久美子
調査第一課	主幹兼課長	山田　猛		
第一係	主査兼係長	河北 秀実	技師	大川　操
	主事	宮田 勝功	技師	角正 淳子
	主事	西出　孝	臨時技術職員	豊田 祥三
	主事	中川　明		
第二係	主査兼係長	森川 常厚	技師	萩原 義彦
	主事	田上　稔	技師	新名　強
	主事	奥野　実	技師	水谷　豊
	主事	柴山 圭子	臨時技術職員	濱辺 一機
第三係	主査兼係長	野原 宏司	技師	伊藤 裕偉
	主事	筒井 英俊	技師	金子 智子
	主事	船越 重信	臨時技術職員	川崎 志乃
調査第二課	主幹兼課長	吉水 康夫		
	主査	杉谷 政樹		
第一係	主査兼係長	本堂 弘之（第三係長本務）	派遣主事	今尾 宏記（北勢町）
	技師	角正 芳浩		
第二係	係長	筒井 正明	主事	小山 健一
	主事	小濱　学	臨時技術職員	瀬野弥知世
第三係	主査兼係長	本堂 弘之（第一係長兼務）	派遣主事	山口　格（津市）
	技師	川畑由紀子		
第四係	係長	森川 幸雄	技師	穂積 裕昌
	主事	城　吉基	技師	原田恵理子
	主事	片岡　博	技師	尾野 公恵
	主事	木野本和之	派遣主事	倉田 文美（朝日町）
	主事	田中 久生	臨時技術職員	田中 美穂
	主事	服部 芳人		

〔施　設〕

三重県埋蔵文化財センター

所在地　多気郡明和町竹川 503 番地　TEL 0596-52-7029・3800　FAX 0596-52-7035

面積　敷地面積 18,000 ㎡　建築面積 4,573 ㎡　述床面積 5,077 ㎡

構造　鉄筋コンクリート造１階(一部２階)建　＊建物は斎宮歴史博物館と共用

遺物収蔵庫

桜橋収蔵庫	津市桜橋２丁目 126	TEL 059-227-2465
藤方収蔵庫	津市藤方 2283-1	TEL 059-224-4560
高茶屋収蔵庫	津市高茶屋７丁目３番 46 号	TEL 059-224-4560
上野収蔵庫	上野市丸之内 117	TEL 0595-24-0079

現場整理所

国道 475 号東海環状自動車道整理所			
	員弁郡大安町片樋 2262-2	TEL 0594-78-3920	FAX 0594-78-3921
近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)整理所			
	四日市市伊坂町 126-1	TEL 0593-66-2688	FAX 0593-66-2689
国道 23 号中勢道路整理所	津市安東町 1213-5	TEL 059-229-2770	FAX 059-229-2771
玉城整理所	度会郡玉城町岡村 281-1	TEL 0596-58-5904	FAX 0596-58-5905

Ⅱ　平成11年度発掘調査

1 発掘調査一覧

〔全県下の発掘調査〕

調査機関		本調査			試掘調査・工事立会			総調査面積(㎡)
		遺跡数	件数	調査面積(㎡)	遺跡数	件数	調査面積(㎡)	
県	埋蔵文化財センター	36	41	89,370	93	99	11,600	100,970
県	斎宮歴史博物館	1	8	3,622	0	0	0	3,622
市町村教育委員会等		41	52	46,052	132	161	10,741	56,793
全県計		78	101	139,044	225	260	22,341	161,385

〔県埋蔵文化財センター担当の発掘調査〕

事業名		件数		調査面積(㎡)
		本調査	試掘調査・工事立会	
県事業関係	農林水産商工部関係	7	24	16,158
	県土整備部関係	18	44	30,587
	その他	1	1	926
国・公団事業関係	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設関係	8	3	41,492
	一般国道475号東海環状自動車道建設関係	2	0	4,720
	一般国道23号中勢道路建設関係	2	2	3,484
	国営宮川用水第二期土地改良事業関係	2	21	1,643
	近畿自動車道尾鷲勢和線	1	4	1,960
計		41	99	100,970

〔県埋蔵文化財センター担当の本調査〕　（※は国・県費補助事業）

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
1	覚正垣内遺跡（第3次）	員弁郡北勢町阿下喜	東海環状自動車道	建設省	400
2	上惣作遺跡（第4次）	員弁郡北勢町阿下喜	東海環状自動車道	建設省	1,470
3	力尾城跡（第2次）	員弁郡菰野町力尾	国道306号四日市菰野バイパス	県土整備部	2,700
4	辻子遺跡（第2次県道）	三重郡朝日町埋縄	地方道四日市朝日線	県土整備部	5,077
5	辻子遺跡（第2次公団）	四日市市広永町 三重郡朝日町埋縄	第二名神	日本道路公団	4,866
6	西ヶ広遺跡（第3次）	四日市市伊坂町	第二名神	日本道路公団	2,930
7	菟上遺跡	四日市市伊坂町	第二名神	日本道路公団	13,598
8	山村遺跡（第1次）	四日市市山村町	第二名神	日本道路公団	1,071
9	山村遺跡	四日市市山村	四日市多度線県単道	県土整備部	3,400
10	伊坂城跡（第1次）	四日市市伊坂町	第二名神	日本道路公団	7,400
11	伊坂遺跡（第1次）	四日市市伊坂町	第二名神	日本道路公団	8,320
12	東海道想定地	四日市市伊坂町	第二名神	日本道路公団	778
13	茂福城跡	四日市市茂福	国補街路事業	県土整備部	25
14	里之内遺跡	四日市市茂福	国補街路事業	県土整備部	25
15	国分北遺跡	鈴鹿市国分町	四日市鈴鹿環状線	県土整備部	1,000
16	北蟻越遺跡（2次）	鈴鹿市津賀町	地方道辺法寺加佐登停車場線	県土整備部	2,700
17	石薬師東古墳群 石薬師東遺跡（第12次）	鈴鹿市石薬師町	防災拠点施設建設	地域振興部	720
18	勢武谷経塚・遺跡	亀山市木下町	近畿自動車道名古屋関線	日本道路公団	2,200
19	観音沖遺跡	鈴鹿郡関町	畜産経営環境整備	農林水産商工部 県教委（※）	400
20	下坪井遺跡	阿山郡伊賀町	県営ほ場整備	農林水産商工部 県教委（※）	20
21	前ヶ谷遺跡	津市一身田大古曽	地方道久居河芸線	県土整備部	130
22	雲出島貫遺跡（第3次）	津市雲出島貫町	嬉野津線国補橋梁整備	県土整備部	2,750
23	神戸遺跡（第2次）	津市南河路	県営ほ場整備	農林水産商工部 県教委（※）	2,100
24	蔵田遺跡（第4次）	津市納所町	中勢道路	建設省	630
25	替田遺跡（第3次）	津市南河路	県営ほ場整備	農林水産商工部 県教委（※）	400
26	替田遺跡（第3次）	津市南河路	県営かんがい排水整備	農林水産商工部	280

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
27	替田遺跡（第４次）	津市南河路	国道 168 号道路特改１種	県土整備部	1,400
28	笹遺跡（第３次）	一志郡一志町	地方道久居美杉線	県土整備部	500
29	堀田遺跡（第４次）	一志郡嬉野町	松阪一志線	県土整備部	850
30	清水谷遺跡（第４次）	一志郡嬉野町	天花寺一志嬉野インター線	県土整備部	600
31	天花寺城跡・小谷赤坂（第６次）・小谷古墳群	一志郡嬉野町	地方道松阪一志線	県土整備部	3,000
32	舞出北遺跡	一志郡三雲町	中勢道路	建設省	上 2,890 下 1,200
33	南遺跡	一志郡美杉村	国道 368 号特改１種	県土整備部	1,900
34	羽根中島遺跡（第２次）	名賀郡青山町	県営ほ場整備事業	農林水産商工部 県教委（※）	4,940
35	古轡通りＢ遺跡（第２次）・古轡通り古墳群	松阪市早馬瀬町	県営ほ場整備事業	農林水産商工部 県教委（※）	2,400
36	発シＢ遺跡	多気郡明和町	宮川用水第二期土地改良	農林水産省	300
37	コドノＢ遺跡（第３次）	多気郡明和町	地方道多気停車場斎明線	県土整備部	300
38	城堀遺跡	多気郡明和町	多気停車場線	県土整備部	2,000
39	金剛坂遺跡（第５次）辰ノ口古墳群（第３次）	多気郡明和町	地方道多気停車場斎明線	県土整備部	350
40	丸山口水銀採掘坑跡群	多気郡勢和村	近畿自動車道尾鷲勢和線	日本道路公団	750
41	斎宮池 16 号墳	多気郡明和町	宮川用水第二期土地改良	農林水産省	600

〔斎宮歴史博物館担当の本調査〕

42	斎宮跡第 127 次	多気郡明和町	計画発掘調査	三重県（※）	1,330
43	斎宮跡第 128-1 次	多気郡明和町	農業用倉庫の新築	三重県・明和町（※）	32
44	斎宮跡第 128-2 次	多気郡明和町	個人住宅の新築	三重県・明和町（※）	144
45	斎宮跡第 128-3 次	多気郡明和町	側溝の新設	明和町	41
46	斎宮跡第 128-4 次	多気郡明和町	既設側溝の布設替え	明和町	80
47	斎宮跡第 128-5 次	多気郡明和町	管理用資材置場	明和町	452
48	斎宮跡第 128-6 次	多気郡明和町	水道管の新規埋設	明和町	27
49	斎宮跡第 129 次	多気郡明和町	計画発掘調査	三重県（※）	166

〔市町村担当の本調査〕

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
50	東禅寺廃寺	員弁郡藤原町	東禅寺配水池新設	事業者	219
51	天王平遺跡（第５次調査）	桑名郡多度町	町道拡幅工事	多度町	56.9
52	宇賀遺跡	桑名市大字蓮花寺	調整池	蓮花寺農住組合	3,300
53	桑名城遺跡	桑名市三之丸	個人住宅	桑名市（※）	69.3
54	桑名城下町遺跡	桑名市萱町	本堂及び書院等の建替	桑名市（※）	500
55	桑名城下町遺跡	桑名市外堀	個人住宅	桑名市（※）	36
56	桑名城下町遺跡	桑名市鍛治町	個人住宅	桑名市（※）	63
57	桑名城下町遺跡	桑名市一色	個人住宅	桑名市（※）	38.5
58	桑名城下町遺跡	桑名市南魚町	個人住宅	桑名市（※）	30
59	桑名城下町遺跡	桑名市内堀	診療所増築	原因者	6
60	四日市代官所跡	四日市市北町	小学校改築	四日市市	2,300
61	山奥遺跡（第７次）	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	建設省	980
62	久留倍遺跡（第１次）	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	建設省	270
63	茂福城跡	四日市市茂福町	羽津３号基幹水路築造	四日市市	700
64	山川遺跡（第２次）	四日市市貝家町	南四日市変電所建設	事業者	3,300
65	西ノ野 11 号墳	鈴鹿市国府町	個人住宅	鈴鹿市	120
66	保子里遺跡（第２次）	鈴鹿市国府町	病院建設	事業者	3,000
67	保子里遺跡（第３次）	鈴鹿市国府町	病院建設計画変更	事業者	85
68	保子里遺跡（第４次）	鈴鹿市国府町	病院駐車場	事業者	370
69	天王山西遺跡（第２次）	鈴鹿市国府町	基盤整備促進事業	事業者	3,000
70	三宅神社遺跡	鈴鹿市国府町	基盤整備促進事業	事業者	2,800
71	石薬師東遺跡（11 次）	鈴鹿市石薬師町	福祉施設建設	事業者	254
72	長者屋敷遺跡（11 次）	鈴鹿市広瀬町	学術調査	鈴鹿市	863
73	伊勢国分寺跡（22 次）	鈴鹿市国分町	学術調査	鈴鹿市	153
74	伊勢国分寺跡（23 次）	鈴鹿市国分町	学術調査	鈴鹿市	132

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
75	津賀平遺跡（4次）	鈴鹿市津賀町	道路改良	鈴鹿市	100
76	石薬師東遺跡（13次）	鈴鹿市石薬師町	道路改良	鈴鹿市	160
77	居敷遺跡（2次）	鈴鹿市津賀町	道路改良	鈴鹿市	1,500
78	天王遺跡（第6次）	鈴鹿市岸岡町	病院建設	事業者	100
79	亀山城跡（第6次）	亀山市東丸町	主要地方道駅前高塚線	県土整備部	927
80	落山城跡	亀山市辺法寺町	第二名神	事業者	600
81	網中遺跡	亀山市辺法寺町	第二名神	事業者	160
82	沢遺跡	亀山市山下町	個人住宅		2
83	鳳凰寺遺跡	阿山郡大山田村	村単独事業　道路拡幅工事	大山田村	100
84	中谷1号墳・中谷遺跡	上野市比土	市道比土別府線	上野市	220 160
85	上野城跡（崇廣堂武場跡・武家屋敷跡）	上野市丸之内	崇廣中学校校舎改築工事	上野市	450 290
86	上野城跡（内堀西側）	上野市丸之内	国史跡上野城跡現状変更	上野市	9.6
87	国史跡旧崇廣堂（7次）	上野市丸之内	史跡旧崇廣堂保存整備事業	上野市（※）	54
88	古屋敷遺跡	上野市小田町	共同住宅造成	事業者	67.5
89	峯治城跡	津市一身田上津部田	畑地造成	事業者	400
90	川口北方遺跡	一志郡白山町	町道大角茅刈線	白山町	1,000
91	貝蔵遺跡（3次）	一志郡嬉野町	土地区画整理組合	中川駅周辺土地区画整理組合	5,286
92	野田遺跡3次調査	一志郡嬉野町	住宅団地造成	嬉野町	1,200
93	丁ノ坪遺跡	名張市瀬古口	大規模店舗	事業者	600
94	黒石遺跡	名張市瀬古口	大規模店舗	事業者	4,000
95	国史跡宝塚古墳	松阪市宝塚町	史跡整備にともなう調査	松阪市（※）	360
96	安養寺跡	多気郡明和町	病棟の建設	事業者	1,800
97	片野殿垣内遺跡（第1次）	多気郡勢和村	土地区画整理	勢和村	1,500
98	片野殿垣内遺跡（第2次）	多気郡勢和村	土地区画整理	勢和村	750
99	赤土山古墳群	伊勢市鹿海町	工場敷地造成及び土砂採取	事業者	410
100	赤木城跡	南牟婁郡紀和町	史跡赤木城跡保存整備事業	紀和町（※）	600
101	宇賀新田古墳群	員弁郡大安町	県営ふるさと農道整備事業	大安町	600

201 津　市
202 四日市市
203 伊勢市
204 松阪市
205 桑名市
206 上野市
207 鈴鹿市
208 名張市
209 尾鷲市
210 亀山市
211 鳥羽市
212 熊野市
213 久居市
301 多度町
302 長島町
303 木曽岬町
321 北勢町
322 員弁町
323 大安町
324 東員町
325 藤原町
341 菰野町
342 楠　町
343 朝日町
344 川越町
361 関　町
381 河芸町
382 芸濃町
383 美里村
384 安濃町
402 香良洲町
403 一志町
404 白山町
405 嬉野町
406 美杉村
407 三雲町
421 飯南町
422 飯高町
441 多気町
442 明和町
443 大台町
444 勢和村
445 宮川村

461 玉城町
462 二見町
463 小俣町
464 南勢町
465 南島町
466 大宮町
467 紀勢町
468 御薗村
469 大内山村
470 度会町
481 伊賀町
482 島ヶ原村
483 阿山町
484 大山田村

501 青山町
521 浜島町
522 大王町
523 志摩町
524 阿児町
525 磯部町
541 紀伊長島町
542 海山町
561 御浜町
562 紀宝町
563 紀和町
564 鵜殿村

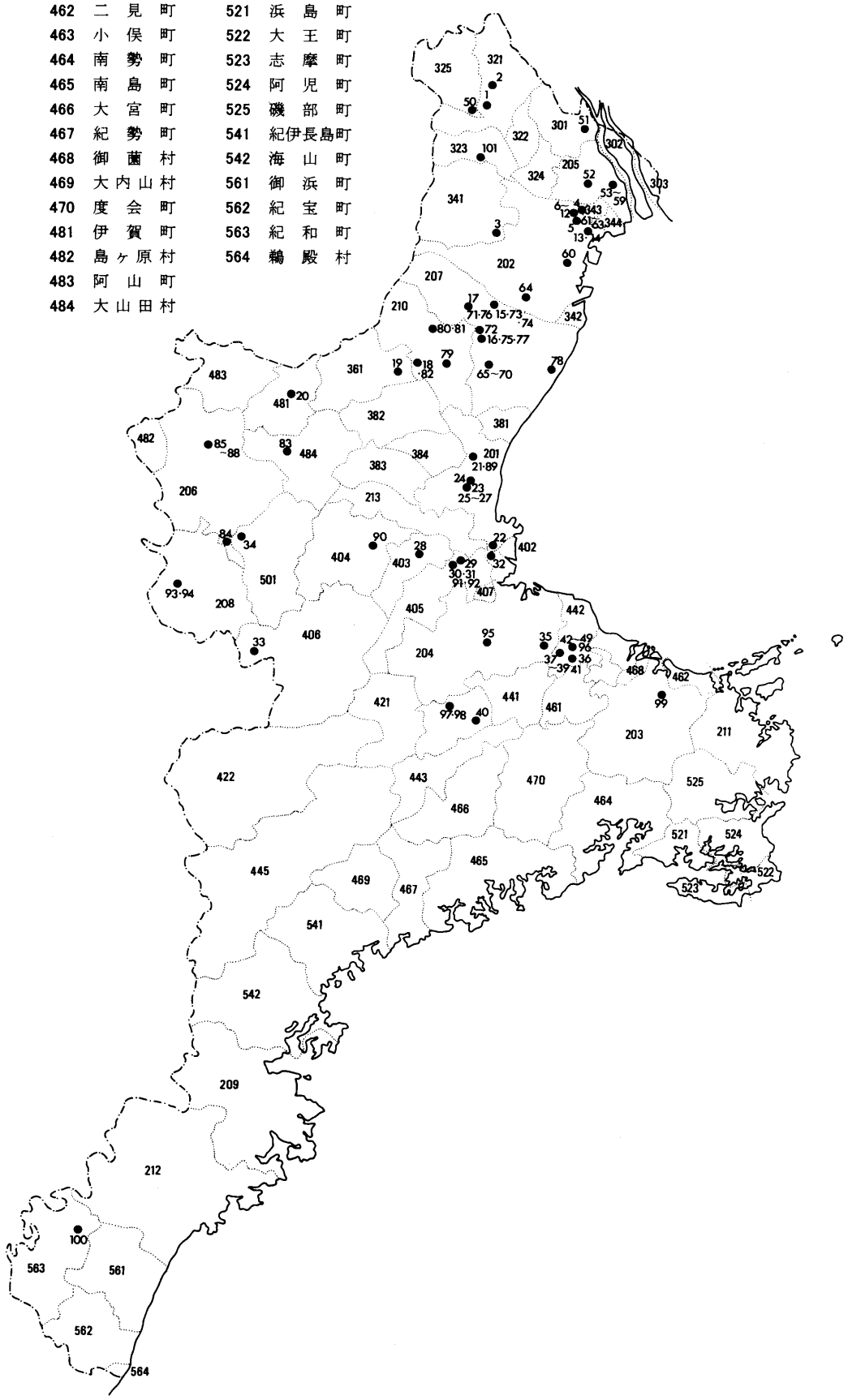


図1　平成11年度　三重県内発掘調査(本調査)遺跡位置図

2 発掘調査の概要

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分　本調査

※は国・県費補助事業

No. 1	遺跡名	覚正垣内遺跡（第３次）	台帳番号	３２１－４１
所在地	員弁郡北勢町阿下喜字覚正垣内ほか		事業主体	建設省中部地方建設局
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設		費用負担	建設省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	今尾宏記　角正芳浩
調査期間	Ｈ１１．７．５～Ｈ１１．７．２２		調査面積	４００㎡
調査概要	員弁川右岸の段丘端部、平成８・11年度調査区の南隣を調査。中世の掘立柱建物１棟を検出、山茶椀を伴う。縄文土器片は出土したが、縄文時代の遺構は確認できなかった。出土した遺構・遺物は第１・２次調査の結果を補足する形となった。東海環状での調査はこの第３次調査をもって終了となる。			
主な遺構	中世：掘立柱建物１棟			
主な遺物	縄文土器、山茶椀			
関連文献	『一般国道475号東海環状自動車道埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ』三重県埋蔵文化財センター 1997、1999、2000			

No. 2	遺跡名	上惣作遺跡（第４次）	台帳番号	３２１－６９
所在地	員弁郡北勢町阿下喜字上惣作		事業主体	建設省中部地方建設局
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設		費用負担	建設省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	角正芳浩　今尾宏記
調査期間	Ｈ１１．５．１７～Ｈ１１．７．２２		調査面積	１，４７０㎡
調査概要	調査地は員弁川右岸の段丘上にあり、平成８年度調査のＡ・Ｂ地区に挟まれる。飛鳥時代を中心とした掘立柱建物や竪穴住居がまとまって検出された。特に注目される遺構として６×３間（12.6×5.1m）、５×３間（10.0×5.6m）の大型掘立柱建物がある。竪穴住居は重複するものが多く、同一場所での建替が確認された。上惣作遺跡は７世紀～８世紀代の竪穴住居から掘立柱建物への移行段階にある集落である。			
主な遺構	飛鳥時代：掘立柱建物17棟・竪穴住居13棟・土坑２基 中世：竪穴住居１棟　・土坑２基			
主な遺物	須恵器・土師器・ロクロ土師器・山茶椀			
関連文献	『一般国道475号東海環状自動車道埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』三重県埋蔵文化財センター 1996～1998			

No. 3	遺跡名	力尾城跡（第２次）	台帳番号	３４１－５４
所在地	員弁郡菰野町力尾		事業主体	道路整備課
調査原因	国道306号四日市菰野バイパス国補道路改築事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	新名　強・豊田祥三・山口聡嗣
調査期間	Ｈ１１．４．５～Ｈ１１．８．２６		調査面積	２，７００㎡
調査概要	第１次調査区の西側に広がる鞍部と平坦面を調査。鞍部からは尾根筋を断ち切る横堀を確認し、力尾城の西限と考えられる。平坦面からは城に伴う遺構は確認されなかった。			
主な遺構	横堀			
主な遺物	土師器・陶器			
関連文献	『三重の中世城館』三重県教育委員会　1976			

No. 4	遺跡名	辻子遺跡（第２次県道）	台帳番号	３４３－１９
所在地	三重郡朝日町埋縄字辻子		事業主体	道路整備課
調査原因	主要地方道四日市朝日線地方特定道路整備		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	田中久生
調査期間	Ｈ１１．７．５～Ｈ１２．２．１８		調査面積	５，０７７㎡
調査概要	昨年度に続き、平安時代末～鎌倉時代の大型掘立柱建物群を検出。桁行４～７間の大型建物がほぼ方向を揃えており、計画的な配置が窺える。また、今年確認した条里地割の西側でも水田を検出した。			
主な遺構	平安時代末期～鎌倉時代：大型掘立柱建物群・網代垣・水田・土坑・条里溝			
主な遺物	古墳時代：Ｓ字甕・土師器壺・農具、 平安時代末期～鎌倉時代：ロクロ土師器・土師器甕・山茶椀・灰釉陶器・墨書木札・下駄・箸			
関連文献	『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）愛知県境～四日市JTC埋蔵文化財発掘調査概要Ⅲ』 三重県埋蔵文化財センター 2000			

No. 5	遺跡名	辻子遺跡（第２次公団）	台帳番号	３４３－１９
所在地	三重郡朝日町埋縄字辻子・四日市市広永町		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	倉田文美
調査期間	Ｈ１１．７．９～Ｈ１２．２．２２		調査面積	４，８６６㎡
調査概要	弥生時代中期後葉～古墳時代前期と平安時代末期～鎌倉時代を中心とする遺跡で、昨年度に続き２年目の調査。本年度の調査でも、微高地上に弥生時代後期と古墳時代前期の竪穴住居を検出。微高地から下がった低地部分では、弥生時代の水田を確認。中世の遺構としては、昨年度に確認した条里の坪界溝に続く溝を検出。少なくとも、２条の条里地割が想定される。地割方向は、Ｎ45°Ｗである。			
主な遺構	弥生時代：竪穴住居１棟・水田・溝、 古墳時代：竪穴住居２棟・土坑・溝、 平安時代末期～鎌倉時代：掘立柱建物２棟・土坑・溝（条里溝）			
主な遺物	弥生時代：壺・甕・敲石、古墳時代：二重口縁壺・高杯・器台・Ｓ字甕・小型丸底壺・板材、 平安時代末期～鎌倉時代：ロクロ土師器・山茶椀・山皿・墨書木片			
関連文献	『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）愛知県境～四日市JTC埋蔵文化財発掘調査概要Ⅲ』 三重県埋蔵文化財センター 2000			

No. 6	遺跡名	西ヶ広遺跡（第３次）	台帳番号	２０２－５９
所在地	四日市市伊坂町字西立広		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	片岡　博
調査期間	Ｈ１１．１０．２５～Ｈ１２．２．１６		調査面積	２，９３０㎡
調査概要	かつて段丘上に展開した西ヶ広遺跡の北端部でも、弥生時代後期と古墳時代後期の竪穴住居が分布したことと、飛鳥～奈良時代の掘立柱建物も北端部と一連の段丘上平坦面外にも分布したことを確認した。過去の調査で段丘中央部で検出した大型の庇付建物群と遺物方向が近似する庇付遺物をはじめ、計14棟を確認した。また、室町時代の掘立柱建物、区画溝、井戸のセットを検出した。			
主な遺構	弥生時代後期竪穴住居５棟、古墳時代後期竪穴住居９棟、飛鳥～奈良時代掘立柱建物14棟 室町時代の掘立柱建物１棟、区画溝、井戸１基			
主な遺物	縄文土器（２片）、弥生土器、ガラス小玉、石斧、須恵器、土師器、鉄鎌、鉄鏃、フイゴ羽口、山茶椀、中世陶磁器、瓦			
関連文献	小玉道明ほか「西ヶ広遺跡」『東名阪道路埋蔵文化財調査報告』三重県教育委員会　1970 小玉道明ほか『西ヶ広遺跡発掘調査報告－Ｄ地区－』四日市市教育委員会　1972			

No. 7	遺跡名	菟上遺跡	台帳番号	２０２－６１、６２、２４７
所在地	四日市市伊坂町字菟上牛谷		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	城　吉基・穂積裕昌・尾野公恵・田中美穂
調査期間	Ｈ１１．６．１４～Ｈ１２．３．２９		調査面積	１３，５９８㎡
調査概要	弥生時代中期では、北勢最大級の弥生集落で多数の竪穴住居の他、棟持柱式の大形掘立柱建物も存在する。律令期になると、倉庫群をもつ大型掘立柱建物群が出現した。また、室町時代と推定される火葬土坑群もあり、なかには銭貨や数珠をもつものもある。			
主な遺構	竪穴住居　50棟以上、掘立柱建物　60棟以上、火葬土坑126基、その他　若干の土坑、溝			
主な遺物	弥生土器、石器、木器、合子形石製品、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶椀、陶器、数珠、銭貨			
関連文献	『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）愛知県境～四日市JTC埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ』 三重県埋蔵文化財センター 1999			

No. 8	遺跡名	山村遺跡（第１次）	台帳番号	２０２－２４９
所在地	四日市市山村町字西・西平子		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	角正芳浩
調査期間	Ｈ１１．９．６～Ｈ１１．１０．２２		調査面積	１，０７１㎡
調査概要	調査地は朝明川下流の北岸、標高約45mの尾根上に位置する。環濠は等高線に対してほぼ直角に掘削される。方形周溝墓は一辺約7.8mの規模を持ち、周溝内から壺が2個体分出土した。掘立柱建物は２間×２間で柱間1.2～1.6mである。調査地は、環濠の存在が知られる金塚遺跡の同一丘陵下位にあたり、その関係が注目される。			
主な遺構	弥生時代中期：方形周溝墓　弥生時代後期：環濠２条、 時期不明：掘立柱建物２棟			
主な遺物	弥生土器・須恵器・土師器など			
関連文献				

No. 9	遺跡名	山村遺跡	台帳番号	２０２－２４９
所在地	四日市市山村町		事業主体	三重県（県土整備部）
調査原因	四日市多度線県単道路改良		費用負担	三重県（県土整備部）
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	萩原義彦
調査期間	Ｈ１１．９．２８～Ｈ１２．２．２５		調査面積	３，４００㎡
調査概要	弥生時代中期の方形周溝墓19基、古墳時代後期から奈良時代にかけての竪穴住居、掘立柱建物が検出できた。方形周溝墓は整然と並ぶものと乱雑なものと存在し、土地占有状況がわかる。一方、同時期の集落である菟上遺跡との関連性が考えられる。			
主な遺構	方形周溝墓（弥生）、竪穴住居（古墳～奈良）、掘立柱建物（古墳～奈良）、土坑（平安）			
主な遺物	弥生土器、須恵器、土師器、緑釉陶器、灰釉陶器、山茶椀、フイゴ羽口、鉄滓			

No. 10	遺跡名	伊坂遺跡（第１次）	台帳番号	２０２－２４６
所在地	四日市市伊坂町字丸内・古屋敷		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	木野本和之・服部芳人・原田恵理子・田中美穂
調査期間	Ｈ１１．７．１～Ｈ１２．２．２９		調査面積	７，４００㎡
調査概要	城跡の所在する丘陵の東端部分で、東名阪自動車道を挟んだ２ヶ所（東区・西区）に調査区を設定した。東区（小字名は丸内）の谷部分では堀状遺構、丘陵部分では掘立柱建物を検出した。建物は堀側（西側）に偏る。また、西区（小字名は古屋敷）の調査区中央では、東区で検出した堀状遺構からつながる通路を検出した。この通路の南側では、土塁に挟まれた屋敷地（約35m四方）内で、主屋・倉庫・柵列・入口などの施設を確認した。また、通路の北側は、地形を３段に削り、狭い屋敷地を形成している。 今回の調査の大きな成果は、伊坂城跡の範囲が、東西に約700mの丘陵全体に及ぶことが確定したことと、屋敷地内部の配置・構造などが判明したことである。			
主な遺構	戦国時代（16世紀）：堀状遺構・掘立柱建物10数棟・柵列・土坑10数基・溝・土塁痕跡			
主な遺物	弥生時代中期：壺・甕 古墳時代後期：須恵器 戦国時代（16世紀）：常滑甕・天目茶碗・土師器・羽釜・陶器筒形容器・花瓶・石臼・石仏・五輪塔			
関連文献	『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）愛知県境～四日市JCT埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ』1999.3			

No. 11	遺跡名	伊坂遺跡（第１次）	台帳番号	２０２－４２９
所在地	四日市市伊坂町字鐙谷		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	片岡　博・木野本和之・服部芳人・原田恵理子・田中美穂
調査期間	Ｈ１１．７．１～Ｈ１１．１０．１３		調査面積	８，３２０㎡
調査概要	文久２年（1862年）、偏平鈕式の銅鐸が出土したことで知られる遺跡である。当遺跡は、重地山と呼ばれる丘陵に位置する。今回の調査区は、大きく３ヶ所に分かれ（北地区・東地区・西地区）る。調査の結果、銅鐸に関連する遺構・遺物は検出されなかった。しかし、古墳時代前期の竪穴住居などを検出し、丘陵上には当該期の集落が広がることが判明した。なお、竪穴住居の１棟は、規模が一辺7.7mと大きく、排水路・壁柱穴・入口的施設を伴うが、炉跡・貯蔵穴がない、特異な性格の住居と考えられる。			
主な遺構	縄文時代：陥し穴３基（北地区） 弥生時代後期：土坑１基（東地区） 古墳時代前期：竪穴住居４棟・焼土坑（北地区） 古墳時代後期：古墳の周溝１条（西地区）			
主な遺物	弥生時代後期：高杯脚部 古墳時代前期：Ｓ字甕・高杯・鉄鏃・砥石・めのう原石 古墳時代後期：須恵器杯身 鉛玉			

No. 12	遺跡名	東海道想定地	台帳番号	（新発見）
所在地	四日市市伊坂町字重地		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	片岡　博
調査期間	Ｈ１１．８．２６～Ｈ１１．１１．２		調査面積	７７８㎡
調査概要	現県道多度四日市線沿いに須恵器小片を含む硬く締まった灰黄褐色土層が部分的に遺存することを確認した。しかし、水田造成に伴う削平や３本の谷の閉口部という立地から残存状況が悪い。側溝など道路に伴う遺構は未確認で、明確に道路遺構とする根拠に欠ける。上記層下で小ピット、溝を確認した。			
主な遺構	小ピット、小溝、中世流路、硬く締まった須恵器杯を含む層			
主な遺物	須恵器・土師器・中世陶器			
関連文献	『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）愛知県境～四日市JCT埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ』 三重県埋蔵文化財センター 1999			

No. 13	遺跡名	茂福城跡	台帳番号	２０２－２５３
所在地	四日市市茂福		事業主体	三重県（県土整備部）
調査原因	平成11年度国補街路事業		費用負担	三重県（県土整備部）
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	萩原義彦
調査期間	Ｈ１２．１．１１～Ｈ１２．１．１２		調査面積	２５㎡
調査概要	3.5m×4.5mのトレンチ調査である。遺物等は出土しなかったが濠跡とみられる堆積層を確認。			
主な遺構	濠跡			
関連文献	『茂福城跡』四日市市茂福城調査会1978			

No. 14	遺跡名	里之内遺跡	台帳番号	２０２－５６４
所在地	四日市市茂福		事業主体	三重県（県土整備部）
調査原因	平成11年度国補街路事業		費用負担	三重県（県土整備部）
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	萩原義彦
調査期間	Ｈ１２．１．１１～Ｈ１２．１．１２		調査面積	２５㎡
調査概要	3.5m×4.5mのトレンチ調査である。おそらく濠跡でみられる堆積層にあたった。遺物等はなく濠とは言い難い。			
関連文献	『茂福城跡』四日市市茂福城調査会1978			

No. 15	遺跡名	国分北遺跡	台帳番号	２０７－５３６
所在地	鈴鹿市国分町		事業主体	道路整備課
調査原因	平成11年度（主）四日市鈴鹿環状線地方特定道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	角正淳子・豊田祥三
調査期間	Ｈ１１．１０．１２～Ｈ１２．１．２０		調査面積	１，０００㎡
調査概要	鈴鹿川北岸の台地上に立地する。中世と思われる掘立柱建物１棟とピット列を検出した。検出したピット列は南北方向へ約60cm間隔で60m近く続いており、さらに南へと続く可能性がある。			
主な遺構	掘立柱建物１棟、ピット列、溝			
主な遺物	瓦、灰釉陶器、須恵器			

No. 16	遺跡名	北蟻越遺跡（２次）	台帳番号	２０７－５２１
所在地	鈴鹿市津賀町南山		事業主体	道路整備課
調査原因	一般地方道辺法寺加佐登停車場線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	水谷　豊・打田久美子
調査期間	Ｈ１１．７．１２～Ｈ１１．１０．１		調査面積	２，７００㎡
調査概要	鈴鹿川中流左岸、標高約46mの丘陵東端に位置する。津賀古墳群の一部の古墳周溝を７基分確認した。遺物は少ないが、周溝内より５世紀中頃の初期須恵器が出土している。			
主な遺構	古墳周溝（７基）			
主な遺物	須恵器壺、土師器壺・高杯、鉄製鋤鍬先２点			
関連文献	『北蟻越遺跡（第１次）津賀２号墳』三重県埋蔵文化財センター　2000			

No. 17	遺跡名	石薬師東古墳群・石薬師東遺跡（第１２次）	台帳番号	２０７－７２７ １２７２～１２７４
所在地	鈴鹿市石薬師町字寺東		事業主体	消防防災課
調査原因	防災拠点施設建設事業		費用負担	地域振興部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	杉崎淳子・水谷豊・山口聡嗣・打田久美子
調査期間	Ｈ１１．４．１９～Ｈ１１．６．３０		調査面積	７２０㎡
調査概要	過去の調査の中で最も西を調査。新たに方墳３基を確認。時期は概ね過去発見された古墳と同じ５世紀後半～６世紀前半と考えられる。			
主な遺構	85号墳：方墳 86号墳：方墳・8×8m 87号墳：方墳・6×5m			
主な遺物	86号墳：土師器片 87号墳：土師器高杯			
関連文献	『石薬師東古墳群・石薬師東遺跡（第12次）発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター2000			

No. 18	遺跡名	勢武谷経塚・遺跡	台帳番号	２１０－２０９・新発見
所在地	亀山市木下町字勢武谷・上野岡		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋関線（亀山亀山）		費用負担	事業者
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	木野本和之
調査期間	Ｈ１１．１０．１～Ｈ１２．３．２９		調査面積	２，２００㎡（上層1,000㎡・下層1,200㎡）
調査概要	鈴鹿川右岸の標高130mの丘陵頂上に立地する。頂上平坦面には、麓の木下町に所在する西念寺第７世住職眞乗上人が造営した経塚（1辺3.5m、高さ1m）があった。調査の結果、経塚の上部で眞乗上人の墳墓、下部で礫石経理納土坑を確認。経塚の下層で弥生時代後期末～古墳時代前期初頭の竪穴住居８棟を確認した。集落は鈴鹿川の沖積地より比高約60mに位置する。伊賀・近江・伊勢からの合流地点をおさえる高地性集落であると思われる。集落はさらに南側に広がるもよう。現在のところ環濠・物見櫓などは確認されていない。			
主な遺構	江戸（18C）：近世墓・礫石経埋納土坑 弥生時代後期末～古墳時代前期初頭：竪穴住居8棟以上・土坑・溝・ピット			
主な遺物	蔵骨器（甕）・土師器皿・礫石経（3,780個） 弥生土器・古式土師器・石鏃・砥石			
関連文献	亀山隆ほか『山下地区文化財調査報告』亀山市教育委員会　1990			

No. 19	遺跡名	観音沖遺跡	台帳番号	３６１－未登録
所在地	鈴鹿郡関町新所町字観音沖		事業主体	農芸畜産振興課
調査原因	畜産経営環境整備事業		費用負担	農林水産商工部・県教委（※）
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	大川操・萩原義彦
調査期間	Ｈ１１．４．５～Ｈ１１．６．２９		調査面積	４００㎡
調査概要	平成10年度畜産経営環境整備事業の工事中に発見され、平成11年度に発掘調査を実施。調査区付近の丘陵よりに窯があることが推察される。調査区内では灰原に溜まった瓦を二次投棄した瓦溜まりを検出したのみであった。			
主な遺構	奈良時代瓦投棄の溝（瓦溜まり）２基、近世以降現代瓦を含む土坑１基			
主な遺物	軒平瓦（重廓文）、平瓦、丸瓦、近世丸・平・軒平・軒丸瓦			
関連文献	『観音沖遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター2000			

No. 20	遺跡名	下坪井遺跡	台帳番号	４８１－未登録
所在地	阿山郡伊賀町御代		事業主体	農業基盤整備課
調査原因	県営ほ場整備事業（柘植川沿岸地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委（※）
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	中川明
調査期間	Ｈ１１．１０．２０～		調査面積	２０㎡
調査概要	遺跡の西端部、水路の集水枡埋設工事予定地。旧溝を検出			
主な遺構	溝1条			
主な遺物	土師器片			

No. 21	遺跡名	前ヶ谷遺跡	台帳番号	２０１－１２
所在地	津市一身田大古曽字への坪・字山神		事業主体	道路整備課
調査原因	主要地方道久居河芸線地方特定整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	新名　強・浜辺一樹
調査期間	Ｈ１１．９．１４～Ｈ１１．１０．１８		調査面積	１３０㎡
調査概要	掘立柱建物は、遺物が伴わず時期は決定できないが、柱穴の形状から中世に属すると考えられる。また、時期不明の溝とそれに伴う杭跡も確認。			
主な遺構	掘立柱建物・溝・杭跡			
主な遺物	須恵器杯身			

No. 22	遺跡名	雲出島貫遺跡（第３次）	台帳番号	２０１－４８４
所在地	津市雲出島貫町字町中		事業主体	三重県（県土整備部）
調査原因	平成11年度（一）嬉野津線国補橋梁整備工事		費用負担	三重県
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	伊藤裕偉・川崎志乃
調査期間	Ｈ１１．４．２１～Ｈ１１．８．３１		調査面積	２，７５０㎡
調査概要	雲出川北岸の自然堤防上に立地。前年度に調査した中世成立期の居館遺構の下層部分からは、古墳時代前期の方形周溝墓群を確認。その東には谷状地があり、水田面を確認した。さらに水田部の東は微高地となり、そこでは同じ時期の環濠と竪穴住居群を確認した。これまでの調査成果と併せれば、当地おける古墳時代前期の集落景観がかなり明確になった。他には、弥生中期の竪穴住居の確認も重要。古墳時代中後期、飛鳥・奈良時代の遺構も濃密に広がっている。			
主な遺構	弥生中期：竪穴住居、古墳前期：方形周溝墓群・環濠・竪穴住居・水田 古墳中後期：竪穴住居、飛鳥・奈良：竪穴住居・掘立柱建物、中世前期：井戸・土坑			
主な遺物	弥生前期：土器（遠賀川系）、古墳前期～中後期：土器（極めて良好）、朱の石杵、瑪瑙原石など多数			
関連文献	『嶋抜』第１次調査　三重県埋蔵文化財センター　1998年			

No. 23	遺跡名	神戸遺跡（第２次）	台帳番号	２０１－５９８
所在地	津市南河路		事業主体	農業基盤整備課
調査原因	県営ほ場整備事業（津中部地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委（※）
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	西出 孝　筒井英俊　柴山圭子
調査期間	Ｈ１１．５．１０～Ｈ１２．１．１７		調査面積	２，１００㎡
調査概要	調査地は安濃川と岩田川に挟まれた沖積地に広がる。現況はいずれも水田で、標高は5.5m程である。調査区はＡ・Ｂ・Ｃ地区に分けて行った。			
主な遺構	掘立柱建物（Ａ地区）・土坑・溝・自然流路			
主な遺物	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・黒色土器・製塩土器・木製品			
関連文献	『神戸遺跡発掘調査報告―鳥居前地区―』三重県埋蔵文化財センター 1996			

No. 24	遺跡名	蔵田遺跡（第４次）	台帳番号	２０１－７５７
所在地	津市納所町字蔵田ほか		事業主体	建設省中部地方建設局
調査原因	中勢バイパス建設事業		費用負担	建設省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	山口 格　小林俊之
調査期間	Ｈ１１．１０．２１～Ｈ１１．１２．１３		調査面積	６３０㎡
調査概要	中勢バイパス建設用地に挟まれる市道部分の調査。調査済みの蔵田遺跡Ｃ地区・Ｄ地区につながる遺構等を検出。			
主な遺構	弥生時代：溝・土坑（墓の可能性あり）、古墳時代：溝			
主な遺物	弥生土器（第二様式の壺・大和型の甕・穿孔のある甕底部片等）・土師器・須恵器			
関連文献	『蔵田遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 1999			

No. 25	遺跡名	替田遺跡（第３次）	台帳番号	２０１－７５９
所在地	津市南河路		事業主体	農業基盤整備課
調査原因	県営ほ場整備事業（津中部地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委（※）
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	西出 孝　田上 稔　筒井英俊
調査期間	Ｈ１１．５．１０～Ｈ１２．１．１７		調査面積	４００㎡
調査概要	調査地は安濃川と岩田川に挟まれた沖積地に位置する。現況は水田。標高は約7m。			
主な遺構	溝（自然流路）４条			
主な遺物	弥生土器・土師器・須恵器・木製品（櫂か鋤）			

No. 26	遺跡名	替田遺跡（第３次）	台帳番号	２０１－７５９
所在地	津市南河路		事業主体	農業基盤整備課
調査原因	平成11年度県営かんがい排水整備事業（中勢地区）		費用負担	農林水産商工部（※）
調査機関	三重県教育委員会		担当者	西出孝・筒井英俊・柴山圭子
調査期間	Ｈ１１．５．１０～Ｈ１１．８．１３		調査面積	２８０㎡
調査概要	調査地は安濃川中流域右岸の自然堤防上に位置する。標高は、約７m。調査区は３つに分かれ、北東から順にア地区、イ地区、ウ地区とした。遺構は、ア地区で中世と思われる土坑とピットが見られたのみで、遺物の出土も少量であった。			
主な遺構	中世：土坑、ピット			
主な遺物	縄文土器、瓦器			

No. 27	遺跡名	替田遺跡（第４次）	台帳番号	２０１－７５９
所在地	津市南河路字又口		事業主体	道路整備課
調査原因	国道168号国補道路特殊改良１種事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	宮田勝功・田上稔
調査期間	Ｈ１１．９．１３～Ｈ１２．１．２５		調査面積	１，４００㎡
調査概要	安濃川流域右岸の自然堤防上に位置する。調査区の北西側では、東西方向に流れる自然流路を検出した。概ねこの層上面で遺構が検出された。遺構には弥生時代の流路や土坑をはじめ、飛鳥～平安時代の掘立柱建物、井戸、土坑などを検出した。廃棄された平安時代の井戸からは、墨書された黒色土器椀が出土している。			
主な遺構	弥生時代：流路１条・土坑１基 飛鳥～平安時代：掘立柱建物４棟・井戸２基 鎌倉時代：井戸１基			
主な遺物	弥生時代：弥生土器（壷・蓋）、飛鳥～平安時代：土師器（杯・蓋）・須恵器（杯・蓋）・黒色土器（椀）・灰釉陶器（椀）・形象硯、鎌倉時代：山茶椀			

No. 28	遺跡名	笹遺跡（第３次）	台帳番号	４０３－２０
所在地	一志郡一志町字井生		事業主体	県土整備部道路建設課
調査原因	主要地方道久居美杉線井生Ｂ・Ｐ緊急地方道路整備（Ｂ改良）		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	金子智子・筒井英俊
調査期間	Ｈ１１．５．１０～Ｈ１１．７．８		調査面積	５００㎡
調査概要	雲出川右岸段丘上に広がる遺跡で周辺では笹遺跡として、これまでに２度調査が行われている。今回の調査では、県道拡幅時の撹乱が激しく江戸時代と思われる溝ＳＤ1以外には明確な遺構は確認されなかった。恐らく今回の調査区は、雲出川から広がる笹遺跡の南端にあたり当時の集落の縁辺部であったと考えられる。			
主な遺構	溝・土坑			
主な遺物	縄文土器片・近世陶磁器・時期不明土師器片			
関連文献	中川明「平成９年度土地改良総合整備事業に伴う笹遺跡発掘調査報告－一志郡一志町井生－」三重県埋蔵文化財センター　1999			

No. 29	遺跡名	堀田遺跡（第４次）	台帳番号	４０５－２２４
所在地	一志郡嬉野町宮古字築山		事業主体	三重県（県土整備部）
調査原因	平成11年度（主）松阪一志線緊急道路整備Ａ		費用負担	三重県
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	伊藤裕偉・浜辺一機
調査期間	Ｈ１１．１０．１８～Ｈ１１．１１．２５		調査面積	８５０㎡
調査概要	天花寺丘陵の北麓水田部に立地。同遺跡第３次調査区の道を挟んで西にあたる。第３次調査区から続く自然流路内では杭列を２ヶ所確認した。出土遺物からは古墳時代前期頃に機能し、最終的には８世紀前葉頃で埋没しているものと考えられる。圃場整備前の地形を考慮すると、この流路は宮古川の旧路と推定する。流路の南部に数条見られる溝は、圃場整備前には良好に確認されていた条里地割との関係が考えられる。自然流路に取り付く導水路からは、古墳時代前期後半頃の良好な一括資料が出土した。			
主な遺構	古墳前期～奈良：流路（杭列２ヶ所）、古墳前期：導水路 奈良頃：掘立柱建物、古墳～奈良：溝			
主な遺物	古墳前期後半：土器類（一括）、古墳中後期：木製品（容器・紡織具など）			
関連文献	『堀田遺跡第３次発掘調査概報』三重県埋蔵文化財センター　1996年			

No. 30	遺跡名	清水谷遺跡（第４次）	台帳番号	４０５－２８０
所在地	一志郡嬉野町天花寺字清水谷		事業主体	道路整備課
調査原因	平成11年度（一）天花寺一志嬉野インター線地方特定道路整備事業		費用負担	県土整備一部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	柴山圭子
調査期間	Ｈ１１．９．２８～Ｈ１１．１２．２１		調査面積	６００㎡
調査概要	中村川左岸の丘陵上に立地。弥生後期初頭の土坑は、中に壷が横位の状態ですえられており、土器棺墓であると思われる。			
主な遺構	弥生時代後期初頭：土坑１基　奈良時代（８世紀後半）：竪穴住居２棟、土坑			
主な遺物	弥生土器、土師器杯、土師器甕			
関連文献	『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1996、『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告（Ⅳ）』三重県埋蔵文化財センター2000			

No. 31	遺跡名	天花寺城跡・小谷赤坂遺跡（第６次）・小谷古墳群	台帳番号	４０５－ ８３，８４，８５，８６，９０
所在地	一志郡嬉野町天花寺		事業主体	道路整備課
調査原因	主要地方道松阪一志線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター　調査一課		担当者	大川操・柴山圭子・豊田祥三・伊藤裕偉・水谷豊
調査期間	Ｈ１１．８．２６～Ｈ１２．２．１０		調査面積	３，０００㎡
調査概要	弥生時代前期・後期の集落跡。小谷10号墳・11号墳・12号墳（周溝のみ）・13号墳の周溝および主体部を２基～３基検出。天花寺城に関わる土塁・堀を確認。			
主な遺構	弥生時代前期土坑２基、弥生後期竪穴住居４棟、小谷10号墳主体部３基、11号墳２基、13号墳２基、土塁、堀			
主な遺物	弥生前期甕類、各古墳主体部出土須恵器（杯蓋身・高杯・脚付壷・壷・甕・樽形甕）、土師器椀・台付椀・鉄製品（短甲、刀剣類、鏃、工具類、玉類）			
関連文献	『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1996 『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告Ⅱ』三重県埋蔵文化財センター1997			

No. 32	遺跡名	舞出北遺跡	台帳番号	４０７－１
所在地	一志郡三雲町舞出		事業主体	建設省中部地方建設局
調査原因	一般国道２３号中勢道路建設事業		費用負担	建設省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	川畑由紀子
調査期間	Ｈ１１．５．１７～Ｈ１２．２．２５		調査面積	上層：２，８９０㎡ 下層：１，２００㎡
調査概要	雲出川の沖積作用により形成された自然堤防上に立地する。上層については鎌倉～室町期の、区画溝を伴う屋敷地と思われる掘立柱建物群が特筆される。 下層については、弥生時代後期の墳墓、古墳時代後期の円墳２基・方墳１基、奈良時代の掘立柱建物が検出された。弥生時代墳墓・古墳時代古墳とも、周溝内に土器が良好な形で出土した。			
主な遺構	上層：鎌倉時代～室町時代　区画溝・掘立柱建物・井戸・土壙 下層：弥生時代後期墳墓１基、古墳時代後期古墳３基（円墳２基、方墳１基）、奈良時代：掘立柱建物、溝			
主な遺物	上層：土師器・陶磁器・五輪塔・鉄製品 下層：弥生土器、土師器・須恵器・埴輪・石製品・馬歯、フイゴ羽口・鉄滓			
関連文献	『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報ＸⅡ』			

No. 33	遺跡名	南遺跡	台帳番号	４０１－９３
所在地	一志郡美杉村太郎生		事業主体	道路整備課
調査原因	国道368号国補道路特殊改良１種事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	中川明・宮田勝功
調査期間	Ｈ１１．５．１７～Ｈ１１．９．２１		調査面積	１，９００㎡
調査概要	名張川の上流左岸の狭い段丘上に立地する。中世の掘立柱建物と土坑を検出。近世の土坑からは鉄砲鋳造に関係する遺物が出土。			
主な遺構	掘立柱建物、土坑、溝			
主な遺物	瓦器椀・皿、常滑焼捏鉢、信楽焼摺鉢、火ばさみ、鉛玉			

No. 34	遺跡名	羽根中島遺跡（第２次・旧称：中島遺跡）	台帳番号	５０１－１５８
所在地	名賀郡青山町羽根字中島		事業主体	農業基盤整備課
調査原因	平成11年度県営ほ場整備事業（羽根地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委（※）
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	船越重伸・萩原義彦
調査期間	Ｈ１１．４．５～Ｈ１１．１０．８		調査面積	４，９４０㎡
調査概要	Ｃ地区とＤ地区の２カ所を調査。Ｃ地区では、奈良時代以降と古墳時代の遺構面を確認。前者では耕作溝・牛の足跡・掘立柱建物を、後者では竪穴住居・掘立柱建物などを検出。Ｄ地区では、古墳時代の竪穴住居と鎌倉時代以降の掘立柱建物を検出。須恵器の器台や韓式系土器・円面硯・勾玉・剣形石製品などの特殊なものが出土していることから一般集落とは少し性格が異なる集落跡の可能性がある。			
主な遺構	竪穴住居・掘立柱建物・耕作溝・牛の足跡			
主な遺物	縄文土器・弥生土器・須恵器・韓式系土器・土師器・円面硯・瓦器・青磁・鉄斧・勾玉・剣形石製品・土製勾玉			

No. 35	遺跡名	古轡通りＢ遺跡（第２次）・古轡通り古墳群	台帳番号	２０４－未登録
所在地	松阪市早馬瀬町字古轡通り		事業主体	農業基盤整備課
調査原因	県営ほ場整備事業（漕代地区）		費用負担	県農林水産商工部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	奥野実・田上稔・金子智子
調査期間	Ｈ１１．５．１０～Ｈ１１．９．１６		調査面積	２，４００㎡
調査概要	平成10年度の調査区に隣接する畑地で調査を行った。古墳時代前期の掘立柱建物や井戸、古墳時代後期の古墳群、室町時代の石組みをもつ井戸などが確認された。			
主な遺構	古墳時代前期：掘立柱建物１棟・井戸１基 古墳時代後期：古墳４基、溝１ 鎌倉時代：土坑１基 室町時代：土坑１基・溝１			
主な遺物	古墳時代：土師器甕・土師器壷・須恵器杯身・須恵器杯蓋 鎌倉時代：土師器鍋・山茶椀・陶器甕 室町時代：土師器鍋・山茶椀・陶器甕			
関連文献	『松阪市史第２巻考古篇』			

No. 36	遺跡名	発シＢ遺跡	台帳番号	４４２－２１４
所在地	多気郡明和町有爾中字発シ		事業主体	農林水産省東海農政局
調査原因	国営宮川用水第二期土地改良事業		費用負担	農林水産省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	小山　憲一・瀬野弥知世
調査期間	Ｈ１１．１１．２６～Ｈ１１．１２．２０		調査面積	３００㎡
調査概要	既設用水路下を工事の進捗に合わせて調査した。調査の結果、飛鳥～奈良時代の土坑１基、鎌倉時代の溝２条、多数のピットを検出。現在検討中であるが、掘立柱建物などが数棟存在する可能性もある。			
主な遺構	土坑１基（飛鳥～奈良）、溝　２条（鎌倉）、ピット			
主な遺物	土師器　甕・甑など 須恵器　甕など、山茶椀			
関連文献	「土師器とその窯－明和町を中心として－」　昭和61年　皇學館大学考古学研究会			

No. 37	遺跡名	コドノＢ遺跡（第３次）	台帳番号	４４２－１６７
所在地	多気郡明和町上村字コドノ		事業主体	県土整備部道路整備課
調査原因	平成11年度一般地方道多気停車場 斎明線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県教育委員会		担当者	西出　孝・打田久美子
調査期間	Ｈ１１．１０．２６～Ｈ１１．１２．２		調査面積	３００㎡
調査概要	コドノＢ遺跡は、祓川右岸の洪積層の低位段丘上に立地し、標高は約17～18m。今回の調査地は第１次調査区の北に隣接し、第1次調査区から連続する方形周溝墓などの遺構が確認された。			
主な遺構	弥生時代：方形周溝墓１基、古墳時代末：掘立柱建物２棟・土坑、中世：溝			
主な遺物	縄文時代：帯文土器、打製石斧 弥生時代：壺・甕、古墳時代末：土師器、中世：土師器			
関連文献	『コドノＡ遺跡・コドノＢ遺跡（第１次）発掘調査報告』三重県教育委員会　1998			

No. 38	遺跡名	城堀遺跡	台帳番号	４４２－１７０
所在地	多気郡明和町上村		事業主体	県土整備部道路建設課
調査原因	平成11年度（一）多気停車場線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	金子智子・筒井英俊
調査期間	Ｈ１１．１０．４～Ｈ１２．１．２６		調査面積	２，０００㎡
調査概要	櫛田川の支流祓川左岸の河岸段丘の端部近くに位置する。調査では弥生時代の方形周溝墓、竪穴住居、奈良時代の竪穴住居、鎌倉時代の土坑墓、溝、土坑、室町時代末～戦国時代の溝、土坑などが検出された調査区北端で確認された土塁は小規模な溝を伴うもので、13世紀以降の築造が想定される。			
主な遺構	方形周溝墓、竪穴住居、溝、土坑、ピット、土塁			
主な遺物	弥生土器、須恵器、土師器皿、鍋、山茶椀、瀬戸・美濃窯産陶器			

No. 39	遺跡名	金剛坂遺跡（第５次）・辰ノ口古墳群（第３次）	台帳番号	４４２－３６
所在地	多気郡明和町金剛坂字辰ノ口		事業主体	道路整備課
調査原因	一般地方道多気停車場斎明線緊急地方道道路整備工事		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	奥野実・打田久美子
調査期間	Ｈ１１．１１．８～Ｈ１１．１２．２８		調査面積	３５０㎡
調査概要	平成10年度の調査区の北西方で、調査を実施した。小さな面積の調査であったが、弥生時代前期にさかのぼる円形周溝墓・方形周溝墓などを確認した。			
主な遺構	弥生時代：円形周溝墓１基、方形周溝墓３基、土坑２基、溝１ 古墳時代：古墳１基、溝１			
主な遺物	弥生時代：弥生土器甕・弥生土器壷 古墳時代：土師器高杯・須恵器			
関連文献	山澤義貴・谷本鋭次『金剛坂遺跡発掘調査報告』明和町教育委員会1971 萩原義彦・川崎志乃『金剛坂遺跡（第４次）・辰ノ口古墳群（第２次）発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1999			

No. 40	遺跡名	丸山口水銀採掘坑跡群	台帳番号	４４４－未登録
所在地	多気郡勢和村色太字丸山口		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道尾鷲勢和線（紀勢～勢和間）建設事業		費用負担	日本道路公団
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	小濵　学
調査期間	Ｈ１１．１０．１２～Ｈ１１．１２．２４		調査面積	７５０㎡
調査概要	18の坑口の調査を行い、坑道を有する坑口、試し掘り的な坑口、露天掘りの坑口などのあることが判明した。また、採掘当時に排出された土の堆積（ズリ）を一部の坑口で確認した。時期については土器が出土していないため判断に苦しむが、古代～中世のものか。事業地外にも29の坑口を確認した。			
主な遺構	試掘坑跡			
主な遺物	石製打割具（表採含め50点）			
関連文献	『近畿自動車道尾鷲勢和線（紀勢～勢和間）埋蔵文化財文化財発掘調査概報Ⅰ』三重県埋蔵文化財センター　2000.3			

No. 41	遺跡名	斎宮池16号墳	台帳番号	４４２－１４０
所在地	多気郡明和町池村字長谷町		事業主体	農林水産省東海農政局
調査原因	国営宮川用水第二期土地改良事業		費用負担	農林水産省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	小山　憲一・瀬野弥知世
調査期間	Ｈ１１．１１．１６～Ｈ１１．１１．１９…① Ｈ１２．１．１４～Ｈ１２．２．２２…②		調査面積	６００㎡
調査概要	斎宮調整池の西側丘陵斜面上に立地する円墳である。西側には15号墳が隣接する。①期に周溝を確認。その後、②期において、周溝及び墳丘を検出。墳丘の形態的特徴として墳頂部分が平坦傾向にある。周溝は、墳丘の西側半周に築かれ、東側には巡らない。北側の周溝の底付近で、土師器の甕の小片が、比較的まとまって出土したものの、それ以外は表土除去中の出土のものである。16号墳と15号墳は、土層観察や周溝の切り合い関係から時期差が認められ、16号墳がより新しいと考えられる。			
主な遺構	周溝、墳丘			
主な遺物	土師器：甕など、須恵器：杯身・甕など			
関連文献	「河田古墳群周辺の古墳分布」『河田古墳群発掘調査報告Ⅲ』　1986年　多気町教育委員会			

県（斎宮歴史博物館）担当分　　本調査

No. 42	遺跡名	斎宮跡第１２７次(6ADK-HI)	台帳番号	４４２－２１０
所在地	多気郡明和町斎宮字上園		事業主体	三重県教育委員会
調査原因	計画発掘調査		費用負担	国※・県
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	西村美幸・大川勝宏
調査期間	H.１１.５.１０ ～H.１１.１０.２６		調査面積	１，３３０㎡
調査概要	方格地割南東隅で４ ブロックで一区画となっている部分の調査を行った。周辺で は奈良時代の古道が確認されており、今回の調査区内でも南側溝と考えられているSD5266の延長を確認した。しかしこれに伴う北側溝は確認できなかった。また、 出土遺物から時期は確認できなかったが、９ｍの間隔で平行に延びる２条の溝が確認され、これも古道である可能性が考えられる。掘立柱建物は１棟のみ検出した。			
主な遺構	掘立柱建物１棟、井戸１基、SD5266、伊勢官道（奈良古道）			
主な遺物	土師器、須恵器、緑釉陶器			
関連文献	史跡斎宮跡第127次調査（上園地区）現地説明会資料			

No. 43	遺跡名	斎宮跡第１２８-1 次(6AGQ)	台帳番号	４４２－２１０
所在地	多気郡明和町字鍛冶山		事業主体	明和町教育委員会
調査原因	農業用倉庫の新築		費用負担	国※・県・町
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	上村安生
調査期間	H.１１.６.８～H.１１.６.１８		調査面積	３２㎡
調査概要	今回の調査では鍛冶山西ブロックの外郭東辺柵列SA6790の延長にあたる柱掘形 を検出した。SA6790の北端から32間から34間にあたる。また、北側の第119 次調査で、途中までしか検出されなかったSA6770は今回の調査でも検出されなかったため、その機能としては間仕切り的な性格が強いものと想定される。			
主な遺構	柵列SA6790、溝２			
主な遺物	土師器（皿・鍋・羽釜）			

No. 44	遺跡名	斎宮跡第１２８-2 次 (6ACA-W)	台帳番号	４４２－２１０
所在地	多気郡明和町字鍛冶山		事業主体	明和町教育委員会
調査原因	個人住宅の新築		費用負担	国※・県・町
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	上村安生
調査期間	H.１２.１.１７ ～H.１２.１.２１		調査面積	１４４㎡
調査概要	今回の調査では溝１条が検出された以外は攪乱土坑しか検出されなかった。遺物も整理箱２箱分で少ない。調査区の西端で検出した溝は平成元年に西側で実施した 第81-2次調査で検出された溝に続くと思われ、古墳の周溝の可能性もある。出土した遺物は土師器細片１点だけで時期は不明である。			
主な遺構	溝１条			
主な遺物	土師器（杯・皿・甕・鍋）、山茶椀（「廣」OR「康」？の墨書１点あり）、青磁椀			
関連文献	『史跡斎宮跡　県道南藤原・竹川線発掘調査報告』斎宮歴史博物館　1991			

No. 45	遺跡名	斎宮跡第１２８-3 次 (6AEW-ACM)	台帳番号	４４２－２１０
所在地	多気郡明和町字鈴池		事業主体	明和町教育委員会
調査原因	側溝の新設		費用負担	明和町
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	西村美幸
調査期間	H１２．１．１８～H１２．１２．１		調査面積	４１㎡
調査概要	方格地割の鈴池東ブロックと鈴池西ブロックの間の道路上にあたる部分で幅0.8m×延長46mの排水溝の設置部分の調査を行った。北側で、方格地割にほぼ平行する平安時代後期の溝２条を検出した。中央から南では方格地割にほぼ直行する方向 の溝４条を検出した。これらからは中世の遺物が出土している。			
主な遺構	溝、土坑			
主な遺物	土師器、須恵器、白磁椀			

No. 46	遺跡名	斎宮跡第１２８-４ 次 (6ACK)	台帳番号	４４２－２１０
所在地	多気郡明和町斎宮字東裏地内		事業主体	明和町
調査原因	既設側溝の布設替え		費用負担	町
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	瀬田敏彦・大川勝宏
調査期間	Ｈ１２．２．１　～　Ｈ１２．２．２４		調査面積	８０㎡
調査概要	道路側溝を埋設する幅約 0.7m、延長約 110mの範囲の工事の及ぶ深度まで調査対応した。調査区北端約20m付近まで遺物包含層である黒ボク土が厚さ 0.2mまで認められたが、大部分は盛土及び近世以降の撹乱層の中で工事掘削が納まる事が判明したため、立ち会い調査に切り換えた。			
主な遺物	土師器小片			

No. 47	遺跡名	斎宮跡第１２８-５ 次(6AEP)	台帳番号	４４２－２１０
所在地	多気郡明和町斎宮字御館		事業主体	明和町教育委員会
調査原因	史跡内管理用資材置場の整地		費用負担	町
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	駒田利治・西村美幸
調査期間	H．１２．１．２３ ～H１２．２．９．		調査面積	４５２㎡
調査概要	奈良時代後期に造営された斎宮跡方格地割の南から２列目で東から５列目の区画 にあたる御館区画とその南の牛葉区画を画する区画施設（溝・道路）が推定通り確認された。この区画道路は、両側溝の溝心々で幅約13.3mで、方位は方格地割と同じく東から北へ約４度振れている。この区画施設と重複して、平安時代後期の幅約7.8mの両側側溝をもつ道路が確認されており、方格地割の溝の存続時期を最大をこの時期までとできる。			
主な遺構	溝14条、道路２路			
主な遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器			

No. 48	遺跡名	斎宮跡第１２８-６ 次 (6ACJ)	台帳番号	４４２－２１０
所在地	多気郡明和町斎宮字内山地内		事業主体	明和町
調査原因	水道管の新規埋設		費用負担	町
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	瀬田敏彦 ・大川勝宏
調査期間	Ｈ１１．８．２　～　Ｈ１１．８．３		調査面積	２７㎡
調査概要	斎宮跡体験学習施設「いつきのみや歴史体験館」の水道工事のうち、工事掘削が遺構面に達するおそれのある部分について事前発掘調査を実施したが、工事深度内は全て現況町道造成時の盛土内に納まっていたため、立ち会い調査で対応した。			

No. 49	遺跡名	斎宮跡第 １２９次 (6AEU)	台帳番号	４４２－２１０
所在地	多気郡明和町斎宮字御館		事業主体	三重県教育委員会
調査原因	計画発掘調査		費用負担	国※・県
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	上村安生
調査期間	H．１１．８．２～H．１１．８．２０		調査面積	１６６㎡
調査概要	今回の調査地は大半が近代の瓦粘土採掘のため遺構面が撹乱され、遺構は確認されなかった。遺物も出土量は少なく、整理箱４箱分である。そのほとんどが撹乱土坑埋土の遺物で、平安時代初期から後期までのものを含んでいる。遺構は確認されなかったが、当該区画が平安時代には機能していたことが裏付けられる。			
主な遺物	土師器（杯・甕）、須恵器（杯・甕）、灰釉陶器椀			

市町村担当分　　本調査

※は国・県費補助事業

No. 50	遺跡名	東禅寺廃寺	台帳番号	３２５－１５
所在地	員弁郡藤原町東禅寺字垣内1625他		事業主体	藤原町役場上下水道課
調査原因	東禅寺配水池新設の為		費用負担	事業者
調査機関	藤原町教育委員会		担当者	松本覚・清水弘之
調査期間	Ｈ１１．１１．２０～Ｈ１１．１２．２９		調査面積	２１９㎡
調査概要	これまで、東禅寺廃寺に関しては、古くからの伝承や大字東禅寺字寺山における遺物の発見等で、注目されてきた。しかし、廃寺の存在や位置について地形的に推測を進めるものの、積極的に検討する根拠は確認できてはいなかった。今回の推定地の近辺での調査によって確認できた遺構は、時期的にも規模からしても東禅寺廃寺に関わるものと思われ、調査の成果は大きいと考える。しかし、発見できた掘立柱の遺構は、掘立柱建物であるのか、門、柵あるいは塀に相当する物であるのかの確定は困難であり、隣接地における今後の調査に期待したい。			
主な遺構	ピット・土坑			
主な遺物	鎌倉時代～室町時代：山茶椀、山皿、土師皿、擂り鉢、古瀬戸壺			
関連文献	「ふるさとの心をたずねて　第20輯」平成１2年3月31日に発行予定です。			

No. 51	遺跡名	天王平遺跡（第５次調査）	台帳番号	３０１－５７
所在地	桑名郡多度町大字小山字天王平２４６３－１		事業主体	多度町
調査原因	町道拡幅工事		費用負担	多度町
調査機関	多度町教育委員会		担当者	石神教親
調査期間	Ｈ１２．３．８～Ｈ１２．３．２７		調査面積	５６．９４㎡
調査概要	平成９年に行われた第４次調査の西側に位置する。調査面積が狭いため遺構の性格等は明らかではない。小土坑の一つからは土師器とともに貝殻が多数出土した。			
主な遺構	小土坑60、溝３本			
主な遺物	土師器・須恵器・灰釉陶器など			
関連文献	『天王平遺跡発掘調査報告Ⅰ・Ⅱ』三重県埋蔵文化財センター　1982・1983 『天王平遺跡発掘調査報告』多度町教育委員会　1981 『天王平遺跡発掘調査報告Ⅲ』多度町教育委員会　1993			

No. 52	遺跡名	宇賀遺跡	台帳番号	２０５－８０
所在地	桑名市大字蓮花寺字宇賀		事業主体	蓮花寺農住組合
調査原因	調整池		費用負担	蓮花寺農住組合
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	平野亜紀・斉藤理・水谷芳春
調査期間	Ｈ１１．９．２８～Ｈ１２．２．２９		調査面積	３，３００㎡
調査概要	遺構は３面検出された。Ⅰ面では畦畔等の遺構は確認されていないが、試掘調査時に大量のプラントオパールが検出されている。Ⅱ面では溝３条と堰が検出された。時期は４世紀頃か。			
主な遺構	溝、堰			
主な遺物	山茶椀、土師器			

No. 53	遺跡名	桑名城遺跡	台帳番号	２０５－１００
所在地	桑名市三之丸		事業主体	個人
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市（※）
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斉藤理・水谷芳春
調査期間	Ｈ１１．１２．１～Ｈ１１．１２．６		調査面積	６９．３㎡
調査概要	戦災や土管の埋設等により、若干撹乱を受けていた部分もあったが、遺構面はおおむね良好に残存していた。掘削深度の制約から、近世末頃の遺構面の確認に留まったが、調査区の北東隅では礎石、柱穴等が検出された。			
主な遺構	礎石、柱穴			
主な遺物	近世陶磁器			

No. 54	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所在地	桑名市萱町		事業主体	宗教法人　法盛寺
調査原因	本堂及び書院等の建替		費用負担	桑名市（※）
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	平野亜紀・斉藤理・水谷芳春
調査期間	Ｈ１１．５．２８～Ｈ１１．９．３０		調査面積	５００㎡
調査概要	遺構は戦災の撹乱を受けていたが、良好に残存していた。遺構面は５面確認された。 遺物の時期等から、基壇は寺に伝承される安政４年（1857）建立の本堂の基壇である可能性がある。			
主な遺構	基壇、竈、墓等			
主な遺物	いぶし瓦（「御用」「勢州桑名　御瓦師　藤原正俊」等印、その他へら書き） 軒丸瓦（瓦当に「柳」）、瀬戸美濃産陶磁器、肥前産陶磁器、常滑焼 萬古焼、土師器、人骨、銭、山茶椀等			

No. 55	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所在地	桑名市外堀		事業主体	個人
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市（※）
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斉藤理・水谷芳春
調査期間	Ｈ１２．２．２４～Ｈ１２．２．２５		調査面積	３６㎡
調査概要	遺構面に木杭を打ち込み、横木を施した土留め状の遺構を調査区の南西隅で検出した。性格は判然としないが、出土遺物等から近世末頃の遺構と思われる。その他、ハマグリ、シジミ等が充填された浅い土坑が１基検出された。			
主な遺構	土留め状遺構、土坑			
主な遺物	近世陶磁器			

No. 56	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所在地	桑名市鍛冶町		事業主体	個人
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市（※）
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斉藤理・水谷芳春
調査期間	Ｈ１２．１．１７～Ｈ１２．１．２１		調査面積	６３㎡
調査概要	調査地は外堀によって隔てられる桑名城下町の西隅に近く、絵図等によると水路が複雑に交わる地点であった。掘削の結果、石積の基礎部分が検出された。外堀に通じる水路の一部と考えられ、近世末もしくは明治初頭まで機能していたと思われる。			
主な遺構	胴木、石積			
主な遺物	近世陶磁器			

No. 57	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所在地	桑名市西一色		事業主体	個人
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市（※）
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斉藤理・水谷芳春
調査期間	Ｈ１１．１１．１９		調査面積	３８．５㎡
調査概要	調査地は桑名城下町の西限の外堀に隣接する地点で、外堀に附随する何らかの施設の検出が予想された。掘削深度に制約があったため、最下層まで掘り抜くことはできなかったが、近世遺構面は良好に残存していると思われる。土層は残存する外堀に向かってゆるやかに落ち込むように堆積しており、近世に機能していた外堀は現況よりも大規模であったと思われる。			
主な遺物	近世陶磁器			

No. 58	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所在地	桑名市南魚町		事業主体	個人
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市（※）
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斉藤理・水谷芳春
調査期間	Ｈ１１．５．２６		調査面積	３０㎡
調査概要	近世末頃の遺構面を確認、土坑１基を検出した。掘削深度に制約があり、最下層まで掘り抜けなかったが、下層の遺構も良好に残存するものと思われる。遺物は瀬戸美濃窯産の陶磁器類を中心に常滑焼の壷・甕、肥前産の磁器等が大量に出土した。			
主な遺構	土坑			
主な遺物	近世陶磁器			

No. 59	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	２０５－９９
所在地	桑名市内堀		事業主体	森栄メディカルクリニック
調査原因	診療所増築		費用負担	原因者
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	平野亜紀・斉藤理・水谷芳春
調査期間	Ｈ１２．３．２		調査面積	６㎡
調査概要	エレベーターの基礎部分の６㎡が調査対象。試掘で確認した近世の遺構面に土坑１基を検出した。土坑中からは近世の瀬戸美濃窯産の陶器類のほか、大量の土師器皿が出土した。廃棄土坑と考えられるが、発掘区外に広がるための規模、形状は不明である。			
主な遺構	廃棄土坑			
主な遺物	土師器皿、天目茶椀、志野皿、鉄釉灯明皿			

No. 60	遺跡名	四日市代官所跡	台帳番号	２０２－４４７
所在地	四日市市北町		事業主体	四日市市
調査原因	小学校改築		費用負担	四日市市
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	葛山拓也・伊藤裕之・熊谷香
調査期間	Ｈ１１．６．２８～Ｈ１１．９．３０		調査面積	２，３００㎡
調査概要	代官所建物跡は、後世の攪乱のため、礎石が数個検出されたものの正確な場所を特定できるまでには至らなかった。16世紀末から17世紀初頭頃の土坑が検出された。大部分の遺物は、堀部分から出土しており、17世紀～19世紀にかけてのものが大部分である。陶磁器のうち、信楽産のものが一定量を占めており、第２次天領期（1801～1867）に四日市代官所が信楽代官所の出張陣屋だったことが関係していると思われる。堀の埋土からは、陶磁器以外に多量の木製品も出土した。			
主な遺構	堀、橋脚、護岸（土留め）、土坑、井戸			
主な遺物	陶磁器（瀬戸・美濃・信楽・常滑・肥前・備前）、土師器皿、焼塩壷、土錘、土鈴、土人形、硯、砥石、五輪塔、木製品（下駄、箸、曲物、木札、鏡箱、模型和船、しゃもじ、栓、櫛、木床、義歯）、漆器、金属製品（煙管、小束、鍔、寛永通寶、かすがい、包丁）			
関連文献	『四日市市史第六巻　史料編　絵図』四日市市1993 『四日市市史研究　第三号』四日市市1990			

No. 61	遺跡名	山奥遺跡（第７次）	台帳番号	２０２－８４
所在地	四日市市大矢知町字北の脇		事業主体	建設省中部地方建設局
調査原因	一般国道１号北勢バイパス建設		費用負担	建設省
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	佐々木裕・荒木昌俊・泉雄二
調査期間	Ｈ１１．６．１～Ｈ１１．１２．９		調査面積	９８０㎡
調査概要	朝明川左岸の垂坂丘陵東斜面に位置する。これまでの調査で弥生時代後期から古墳時代後期までの竪穴住居を計121棟検出している。今回、新たに弥生時代後期の竪穴住居11棟、古墳時代後期の竪穴住居４棟、掘立柱建物２棟、土器焼成坑１基を確認した。			
主な遺構	竪穴住居28棟、掘立柱建物２棟、土器焼成坑１基			
主な遺物	弥生土器、須恵器、土師器			
関連文献	『一般国道１号北勢バイパス発掘調査概報Ⅳ』四日市市2000			

No. 62	遺跡名	久留倍（クルベ）遺跡（第１次）	台帳番号	２０２－７４
所在地	四日市市大矢知町字久留倍		事業主体	建設省中部地方建設局
調査原因	一般国道１号北勢バイパス建設		費用負担	建設省
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	清水政宏・荒木昌俊
調査期間	Ｈ１１．１１．１６～Ｈ１１．１１．２４		調査面積	２７０㎡
調査概要	朝明川左岸の垂坂丘陵東上面に位置する。今回の調査区は丘陵南裾端の宅地跡部分である。調査の結果、弥生時代中期の竪穴住居１棟と柱穴数個を検出した。根幹の調査で、久留倍遺跡が弥生時代中期までさかのぼる集落であることが判明した。			
主な遺構	竪穴住居28棟、掘立柱建物２棟、土器焼成坑１基			
主な遺物	弥生土器、須恵器、土師器			
関連文献	『一般国道１号北勢バイパス発掘調査概報Ⅳ』四日市市2000			

No. 63	遺跡名	茂福城跡	台帳番号	２０２－２５３
所在地	四日市市茂福町		事業主体	下水建設課
調査原因	羽津３号基幹水路築造工事		費用負担	四日市市
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	加藤淳次・佐々木裕
調査期間	Ｈ１１．１１．１～Ｈ１１．１１．１１		調査面積	７００㎡
調査概要	現存する主郭の北側で堀の一部を検出した。検出した部分は、堀の外側の肩で地山を掘り込んでつくられていた。堀上部は自然崩壊や後世の削平を受けており、現存部分は底部から0.6mにとどまった。			
主な遺構	堀			
主な遺物	土師器羽釜、木製品（漆）			
関連文献	『茂福城跡』四日市市茂福城跡調査会1978			

No. 64	遺跡名	山川（ヤマゴ）遺跡（第２次）	台帳番号	２０２－２０６
所在地	四日市市員家町字山川		事業主体	中部電力株式会社
調査原因	南四日市変電所建設工事		費用負担	事業者
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	赤松一秀・加藤淳次
調査期間	Ｈ１１．４．１５～Ｈ１２．３．３１		調査面積	３，３００㎡
調査概要	四日市市南西部に位置し、内部川の支流の足見川と鎌谷川とに挟まれた台地上に立地する。昨年度の第１次調査では、弥生時代の土坑、古墳時代の竪穴住居１棟のほかに、火葬墓（中世）が４基検出された。第２次調査では、弥生時代の竪穴住居１棟（中央に炉）と古墳時代の竪穴住居５棟を検出した。内４棟でカマドを確認したが、１棟は焼土が認められるもののカマドの確認はできなかった。古墳は、主体部から木質が付着した鉄釘が、27本出土し、棺外からは須恵器の長頸壷１点、土師器の杯身１点が出土した。遺物の時期から７世紀末から８世紀初頭のものと思われる。			
主な遺構	弥生時代：竪穴住居１棟、土坑２基 古墳時代：古墳１基、竪穴住居５棟、土坑 中世：掘立柱建物２棟、土坑			
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、中世陶器（常滑）、鉄釘			

No. 65	遺跡名	西ノ野１１号墳	台帳番号	２０７－２０８
所在地	鈴鹿市国府町字坂下		事業主体	個人
調査原因	個人住宅		費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	吉田真由美
調査期間	Ｈ１１．１０．２８～Ｈ１１．１１．９		調査面積	１２０㎡
調査概要	西ノ野１１号墳は通称碗塚と呼ばれる前方後円墳で、全長40～50mと考えられている。今回の調査では現存する墳丘の南側で最大６m幅の周溝を確認した。			
主な遺構	周溝			
主な遺物	須恵器・土師器・常滑焼・近世陶器			

No. 66	遺跡名	保子里遺跡（第２次）	台帳番号	２０７－１０６７
所在地	鈴鹿市国府町字保子里		事業主体	鈴鹿回生総合病院
調査原因	病院建設		費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	岡田雅幸・吉田真由美
調査期間	Ｈ１１．４．５～Ｈ１１．６．３０		調査面積	３，０００㎡
調査概要	鈴鹿川右岸の台地上に立地する。調査区は３区に分かれている。Ａ区は削平が著しく、遺構の残り具合は劣悪であったが縄文時代の竪穴住居１基を検出できた。Ｂ区やＣ区でも、古墳時代の竪穴住居を50棟あまり検出したが、重複や建て替えが見られることから全てが同時期のものではない。土坑からは山茶椀や灰釉陶器・青磁も出土していることから、本遺跡は縄文から中世まで幅広い時代にわたって人々が生活し、集落を営んでいたことがわかった。			
主な遺構	竪穴住居・土坑・溝・柱穴			
主な遺物	縄文土器・石錘・弥生土器・埴輪片・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶椀・青磁・砥石・鉄滓・鉄製品			

No. 67	遺跡名	保子里遺跡（第３次）	台帳番号	２０７－１０６７
所在地	鈴鹿市国府町字保子里		事業主体	鈴鹿回生総合病院
調査原因	病院建設計画変更		費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	岡田雅幸・吉田真由美
調査期間	Ｈ１１．９．１３～Ｈ１１．１０．８		調査面積	８５㎡
調査概要	建設計画の変更のため、第２次調査３区を西へ拡張して調査を行った。前回の調査で確認されていた竪穴住居SH05の西隅が、また、溝と考えていたものが竪穴住居であることが確認された。その他古墳時代の竪穴住居４棟、溝、ピットが検出された。			
主な遺構	竪穴住居・溝・ピット			
主な遺物	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石錘・石鏃・剥片			

No. 68	遺跡名	保子里遺跡（第４次）	台帳番号	２０７－１０６７
所在地	鈴鹿市国府町字保子里		事業主体	鈴鹿回生総合病院
調査原因	病院駐車場建設		費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	岡田雅幸・吉田真由美
調査期間	Ｈ１２．２．１４～Ｈ１２．３．１		調査面積	３７０㎡
調査概要	調査区は２区に分かれている。Ｄ区は台地の縁辺部にあたり、すぐ北は崖になっており、比高差がかなりる。調査の結果、弥生時代の竪穴住居（６ｍ×６ｍ）１棟と柱穴がいくつか見つかり、保子里遺跡の北側の広がりを確認することができた。Ｅ区では古墳時代の竪穴住居（４ｍ×４ｍ）１棟と土坑６基、柱穴多数見つかった。両区とも攪乱が著しく竪穴住居の一部を壊している。			
主な遺構	土坑・竪穴住居・柱穴			
主な遺物	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石錘・石器剥片			

No. 69	遺跡名	天王山西遺跡（第２次）	台帳番号	２０７－９９５
所在地	鈴鹿市国府町中木曽田		事業主体	国府南部土地改良区
調査原因	基盤整備促進事業		費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	林和範・吉田真由美
調査期間	Ｈ１１．５．６～Ｈ１１．８．３１		調査面積	３，０００㎡
調査概要	鈴鹿川中流の台地、北西に三宅神社を望む微高地に位置する。平安時代の掘立柱建物を12棟検出した。			
主な遺構	掘立柱建物、井戸、溝、土坑			
主な遺物	土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、山茶椀、白磁、瓦、石鏃			

No. 70	遺跡名	三宅神社遺跡	台帳番号	２０７－４９５
所在地	鈴鹿市国府町中木曽田		事業主体	国府南部土地改良区
調査原因	基盤整備促進事業		費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	林和範・吉田真由美
調査期間	Ｈ１１．９．９～Ｈ１２．１．５		調査面積	２，８００㎡
調査概要	鈴鹿川右岸の台地上に位置する。奈良末～平安末にかけて断続的に営まれた掘立柱建物８棟、井戸３基を検出した。井戸からは、方形の木枠が見つかり、そこから木製品がまとまって出土している。			
主な遺構	掘立柱建物、井戸、溝、土坑			
主な遺物	土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、山茶椀、白磁、瓦、石鏃、土錘、刀子、斎串、櫛、曲物、糸巻き、片口木鉢、弥生土器片			

No. 71	遺跡名	石薬師東遺跡（１１次）	台帳番号	２０７－７２７
所在地	鈴鹿市石薬師町字寺東452番の67、68		事業主体	（仮称）社会福祉法人 けやき福祉会
調査原因	福祉施設建設		費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	新田剛・吉田真由美
調査期間	Ｈ１１．４．２１～Ｈ１１．５．７		調査面積	２５４㎡
調査概要	方墳の周溝２基（83・84号墳）が検出された。いずれもカクラン土坑に切られ、残りは悪い。83号墳の周溝からは須恵器杯・蓋・甕・壺などがまとまって出土した。			
主な遺構	古墳周溝			
主な遺物	須恵器杯・蓋・甕・壷			

No. 72	遺跡名	長者屋敷遺跡（１１次）	台帳番号	２０７－３６３
所在地	鈴鹿市広瀬町字矢下1176・1175・1175－１・1093・1130番		事業主体	鈴鹿市
調査原因	学術調査		費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	伊藤朋之・新田剛・吉田真由美
調査期間	Ｈ１１．１０．１～Ｈ１２．１．３１		調査面積	８６３㎡
調査概要	政庁付近の４箇所で調査を実施した。政庁域南辺では南門基壇の地下部分が検出され、政庁西からは新たに瓦葺き礎石建ちになると思われる建物跡が検出された。			
主な遺構	基礎地形、足場穴、土坑、溝			
主な遺物	土師器、須恵器、山茶椀、丸瓦、平瓦、軒丸瓦、軒平瓦、文字瓦			

No. 73	遺跡名	伊勢国分寺跡（２２次）	台帳番号	２０７－３６１
所在地	鈴鹿市国分町字堂跡298・299・299－１・300－１		事業主体	鈴鹿市
調査原因	学術調査		費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	伊藤朋之・岡田雅幸・新田剛・吉田真由美
調査期間	Ｈ１１．７．１５～Ｈ１１．９．３０		調査面積	１５３㎡
調査概要	基壇の痕跡が比較的明瞭に残る講堂付近を調査し、東西の基壇長が約33ｍであることがわかった。西辺から瓦と礫からなる地覆が検出され、さらに西からは、瓦を含む溝状の落ち込みが検出された。			
主な遺構	講堂基壇・溝			
主な遺物	土師器、須恵器、丸瓦、平瓦、軒丸瓦、軒平瓦、礫			

No. 74	遺跡名	伊勢国分寺跡（２３次）	台帳番号	２０７－３６１
所在地	鈴鹿市国分町字堂跡297・298		事業主体	鈴鹿市
調査原因	学術調査		費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	新田剛
調査期間	Ｈ１２．２．４～Ｈ１２．３．３１		調査面積	１３２㎡
調査概要	講堂の南辺および北辺部分を調査し、講堂の南北規模が約21mであることがわかった。北辺部分では塼からなる基壇化粧の基底が明瞭に残っていた。僧坊が推定される部分にも調査区を設定したが、建物の存在を直接示す遺構は確認できなかった。			
主な遺構	講堂基壇・溝・柱穴			
主な遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶椀、丸瓦、平瓦、軒丸瓦、軒平瓦、塼			

No. 75	遺跡名	津賀平遺跡（４次）	台帳番号	２０７－５２２
所在地	鈴鹿市津賀町字地ノ坪		事業主体	鈴鹿市
調査原因	道路改良		費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	伊藤朋之
調査期間	Ｈ１１．７．１２～Ｈ１１．１０．１６		調査面積	１００㎡
調査概要	居敷遺跡（２次）調査区の北約400mの地点に位置する。幅約１mのトレンチ状の調査のため、検出遺構は竪穴住居、土坑、溝のそれぞれ１部のみにとどまったが集落が台地の奥まった地点まで広がっていたことが確認された。			
主な遺構	古墳時代：竪穴住居１棟、鎌倉時代：土坑１基、溝１条			
主な遺物	古墳時代：土師器片、鎌倉時代：山茶椀、山皿			

No. 76	遺跡名	石薬師東遺跡（１３次）	台帳番号	２０７－７２７
所在地	鈴鹿市石薬師町字寺東		事業主体	鈴鹿市
調査原因	道路改良		費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	伊藤朋之
調査期間	Ｈ１１．１２．２０～Ｈ１２．１．１８		調査面積	１６０㎡
調査概要	平成10年７月の９次調査と同じく市道の側溝布設に伴うもので、幅約60ｃｍの試掘トレンチを道路両側に設定して調査を行った。大部分が攪乱であったが、溝を５条検出した。幅60ｃｍのトレンチからではっきりとは断言できないが、今回の調査地点では少なくとも４基の古墳が存在したことが確認された。			
主な遺構	古墳時代：古墳周溝			
主な遺物	古墳時代：円筒埴輪片、形象埴輪片、須恵器片			

No. 77	遺跡名	居敷遺跡（２次）	台帳番号	２０７－１１６９
所在地	鈴鹿市津賀町字居敷		事業主体	鈴鹿市
調査原因	道路改良		費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	伊藤朋之
調査期間	Ｈ１１．３．１０～Ｈ１１．７．５		調査面積	１，５００㎡
調査概要	今回の調査では古墳時代前期の竪穴住居、土坑、平安時代の掘立柱建物などが検出された。遺構密度は調査区の西半分のほうが高く、古墳時代の集落が道路よりも西側に向かって広がっていたことが予想される。また地元証言によると、昭和初期の耕地整理によって地山が削平されたとのことで遺構の深さは全体的に非常に浅いものの、多数の土坑の存在から本来はさらに多くの竪穴住居が存在したと思われる。			
主な遺構	古墳時代：竪穴住居６棟、土坑多数 平安時代：掘立柱建物３棟、他溝・ピット多数			
主な遺物	古墳時代：土師器多数 平安時代：灰釉陶器			
関連文献	『居敷遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター　1996			

No. 78	遺跡名	天王遺跡（第６次）	台帳番号	２０７－８７３
所在地	鈴鹿市岸岡町589－１		事業主体	三重県厚生農業共同組合
調査原因	病院建設		費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	中森成行
調査期間	Ｈ１１．１２．１４～Ｈ１１．１２．末日		調査面積	１００㎡
調査概要	病院が増設される２箇所（約100㎡）について発掘調査を実施。６間×３間の大型掘立柱建物と３間×３間の倉庫風建物を検出。出土遺物から７世紀前半頃のものと考えられる。溝跡からは山茶椀・山皿片が出土し、中世以降のものと考えられる。布目瓦片も多数出土している。			
主な遺構	掘立柱建物２棟、溝４条			
主な遺物	古墳時代須恵器杯身、土師器、山茶椀、山皿、布目瓦			

No. 79	遺跡名	亀山城跡（第６次）	台帳番号	２１０－２００
所在地	亀山市東丸町地内		事業主体	まちづくり推進課
調査原因	主要地方道駅前高塚線整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	亀山市教育委員会		担当者	亀山隆、山際文則
調査期間	Ｈ１１．７．２～Ｈ１１．１１．２２		調査面積	９２７㎡
調査概要	調査地は亀山城二之丸、向御殿、石坂門に相当する場所である。前二者からは近接する３本の空堀が見つかり、途切れて礎石建ちの門を有するもの、食い違い状になるものがある。年代決定が困難だが、すべて同時期のものとすれば複雑な虎口空間が想定できる。後者からは石坂門石垣とそれに伴う石組み側溝が見つかった。さらに背面の裏込石・土台も良好な状態で残っていたため石垣構造を体系的に解明することができた。			
主な遺構	空堀、集石遺構、礎石建物（門）、溝、石垣			
主な遺物	須恵器、土師器、中近世陶磁器、青磁、瓦、炭化米、貝殻（アカニシ）			
関連文献	『伊勢亀山城跡発掘調査報告書Ⅲ』亀山市教育委員会1999			

No. 80	遺跡名	落山城跡	台帳番号	２１０－１３５
所在地	亀山市辺法寺町字網中		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	亀山市教育委員会		担当者	亀山隆、山際文則
調査期間	Ｈ１２．２．３～Ｈ１２．２．２４		調査面積	６００㎡
調査概要	調査地は安楽川左岸の独立丘陵西端に位置し、標高は約60ｍである。調査前、帯曲輪・腰曲輪状の平坦地が見られたが、精査後、自然地形と判明。遺構・遺物はみられなかった。			
関連文献	『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）亀山東JCT～滋賀県境　埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ（網中遺跡・落山城跡・大増遺跡）』亀山教育委員会　2000			

No. 81	遺跡名	網中遺跡	台帳番号	２１０－３５０（新規）
所在地	亀山市辺法寺町字網中		事業主体	日本道路公団
調査原因	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設事業		費用負担	事業者
調査機関	亀山市教育委員会		担当者	亀山隆、山際文則
調査期間	Ｈ１１．２．３～継続中		調査面積	１６０㎡
調査概要	調査地は安楽川左岸、標高50ｍの段丘上に位置する。調査途中であるが現段階で竪穴住居１棟・溝１条を検出した。試掘時に７世紀前半の埋甕が見つかっており、これらの遺構も同時期と考えられる。さらに、試掘では縄文土器が見つかっていることから、縄文から近世の複合遺跡であることが判明した。			
主な遺構	竪穴住居、溝			
主な遺物	飛鳥時代：須恵器、土師器（甑）			
関連文献	『近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）亀山東JCT～滋賀県境　埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ（網中遺跡・落山城跡・大増遺跡）』亀山教育委員会　2000			

No. 82	遺跡名	沢遺跡	台帳番号	２１０－１９９
所在地	亀山市山下町字澤		事業主体	個人
調査原因	個人住宅建設		費用負担	－
調査機関	亀山市教育委員会		担当者	亀山隆、山際文則
調査期間	Ｈ１１．６．８		調査面積	２．０㎡
調査概要	隣接地を昭和62年度・平成元年度に調査したところ縄文時代から室町時代の複合遺跡であることが確認された。今回は浄化槽設置部分のみの調査のため遺構は検出されず、包含層から土師器小破片が数点出土しただけである。			
主な遺物	土師器			
関連文献	『沢遺跡Ⅰ』亀山市教育委員会　1988 『沢遺跡発掘調査報告書Ⅱ』亀山市教育委員会　1990			

No. 83	遺跡名	鳳凰寺遺跡	台帳番号	４８４－１
所在地	阿山郡大山田村大字鳳凰寺字轟		事業主体	大山田村
調査原因	村単独事業　道路拡幅工事		費用負担	大山田村
調査機関	大山田村教育委員会		担当者	中嶋千年
調査期間	Ｈ１１．７．２１～Ｈ１１．８．１０		調査面積	約１００㎡
調査概要	鳳凰寺遺跡において道路拡幅工事が計画され、昭和62年に調査された地点に隣接しているため発掘調査を行った。前回同様、遺跡規模や寺院域、存続時期などは確認できなかったが、第１次調査結果と本調査結果から白鳳期の寺院域が本調査区周辺にあることはほぼ確実と思われる。			
主な遺構	溝			
主な遺物	白鳳期の素弁八弁蓮華文軒丸瓦			
関連文献	大山田村文化財調査報告第４集　鳳凰寺遺跡発掘調査報告　1988年3月			

No. 84	遺跡名	中谷１号墳・中谷遺跡	台帳番号	２０６－１２３４ ２０６－１２３５
所在地	上野市比土		事業主体	上野市
調査原因	市道比土別府線新設工事		費用負担	上野市
調査機関	上野市遺跡調査会		担当者	福田典明・松田久司
調査期間	Ｈ１１．６．２～Ｈ１１．８．９		調査面積	（中谷１号墳）２２０㎡ （中谷遺跡）１６０㎡
調査概要	中谷１号墳：墳丘の東西に尾根方向に対して直交して周溝が直線的に延びており、周溝によって区画された墳丘の規模は一辺11m程度の方墳である。古墳に伴うような遺物は出土せず、墳頂部の墓壙にいたっては一片の遺物も出土していない。 中谷遺跡　：調査区中央の土坑より縄文時代晩期末葉の長原式土器に相当する深鉢片が出土。			
主な遺構	中谷１号墳：墓壙、周溝 中谷遺跡：土坑、ピット			
主な遺物	中谷１号墳：弥生土器壺、土師器甕、須恵器杯、須恵器甕、須恵器鉢 中谷遺跡：縄文土器深鉢、石器（剥片）			

No. 85	遺跡名	上野城跡（崇廣堂武場跡・武家屋敷跡）	台帳番号	２０６－３５８
所在地	上野市丸之内		事業主体	上野市
調査原因	崇廣中学校校舎改築工事		費用負担	上野市
調査機関	上野市遺跡調査会		担当者	笠井賢治、其道和也
調査期間	Ｈ１１．７．２１～Ｈ１１．９．５（Ａ地区） Ｈ１１．１２．２４～Ｈ１２．２．５（Ｂ地区）		調査面積	Ａ地区　４５０㎡ Ｂ地区　２９０㎡
調査概要	Ａ地区では、上層から掘立柱建物、柵列、礎石列が検出されたが崇廣堂武場跡関連と断定できるものは検出されなかった。また、下層からは礎石建物、石敷、溝などが検出された。 Ｂ地区では、上層から礎石建物２棟、土坑、溝などが、下層からは土坑、礎石列などが検出された。			
主な遺構	Ａ地区：掘立柱建物、礎石建物、埋甕群、溝 Ｂ地区：礎石建物、土坑、溝			
主な遺物	土師器皿、鍋、陶器椀、すり鉢、甕、磁器椀、銭			

No. 86	遺跡名	上野城跡（内堀西側）	台帳番号	２０６－３５８
所在地	上野市丸之内		事業主体	上野市
調査原因	国史跡上野城跡現状変更		費用負担	上野市
調査機関	上野市教育委員会		担当者	福田、笠井、松田
調査期間	Ｈ１１．１１．１１		調査面積	９．６㎡
調査概要	内堀西側の肩部に３ヶ所トレンチを設定して、堀の上端及び法面の確認を行った。堀外側の平坦面の整地層及び法面のテラス地形を確認した。			

No. 87	遺跡名	国史跡旧崇廣堂（７次）	台帳番号	２０６－３５８内
所在地	上野市丸之内		事業主体	上野市
調査原因	史跡旧崇廣堂保存整備事業		費用負担	上野市（※）
調査機関	上野市教育委員会		担当者	福田典明
調査期間	Ｈ１１．８．１７～Ｈ１１．９．２８		調査面積	５４㎡
調査概要	文場台所棟北側に位置する土蔵の遺構を確認。			
主な遺構	根石列			
主な遺物	陶磁器			
関連文献	『国史跡旧崇廣堂発掘調査』上野市教育委員会、上野市遺跡調査会　1994			

No. 88	遺跡名	古屋敷遺跡	台帳番号	２０６－９７７
所在地	上野市小田町		事業主体	個人（中野茂樹）
調査原因	共同住宅造成		費用負担	事業者
調査機関	上野市遺跡調査会		担当者	松田久司、福田典明
調査期間	Ｈ１１．１１．２４～Ｈ１１．１１．３０		調査面積	６７．５㎡
調査概要	木津川右岸の微高地に位置する。今回の調査で確認された遺構や遺物は、明治初年に村をあげて移転した集落に関わるものである可能性が考えられたが、全体像までは明らかにできなかった。弥生時代末～古墳時代にかけての遺物については、周辺の自然流路や氾濫原に近接していた集落からの流れ込みが堆積したものと推測される。			
主な遺構	ピット、溝、土坑、水溜状遺構			
主な遺物	土師器広口壺、土師器鍋、陶磁器練鉢、陶器擂鉢、陶器花瓶、硯、瓦器			

No. 89	遺跡名	峯治城跡	台帳番号	２０１－４７０
所在地	津市一身田上津部田		事業主体	個人
調査原因	畑地造成		費用負担	事業者
調査機関	津市埋蔵文化財センター		担当者	中村光司・藤田充子
調査期間	Ｈ１１．１０．２５～Ｈ１１．１２．１４		調査面積	４００㎡
調査概要	県道東側に残る部分、約400㎡の調査、狭小ながら連続する郭を確認。掘立柱建物１棟のほか、郭と区画する溝を検出。出土遺物は溝から土師器茶釜、羽釜等がまとまって出土している。			
主な遺構	掘立柱建物１（４×２間）、郭、溝			
主な遺物	土師器茶釜、羽釜、陶器			
関連文献	『埋文センターニュース　第１１号』（2000．3）津市埋蔵文化財センター			

No. 90	遺跡名	川口北方遺跡	台帳番号	２４０－２８
所在地	一志郡白山町大字川口字並木笠張8109～8118番地		事業主体	白山町
調査原因	町道大角茅刈線　歩道設置工事		費用負担	白山町
調査機関	白山町教育委員会		担当者	石淵　誠人・堀川　義隆
調査期間	Ｈ１１．１１．１６～Ｈ１１．１２．１０		調査面積	１，０００㎡
調査概要	雲出川南岸の河岸段丘に2kmの広範囲に存在する遺跡である。何処までの範囲でこの遺跡が存在しているのかが分からなかったが、今回の調査で、出土した掘立柱建物跡が南方向に延長しているのが認められ南北方向にも、広範囲に及んでいる事がわかった。			
主な遺構	掘立柱建物1棟			
主な遺物	杯・椀・転用硯			
関連文献	『川口北方遺跡発掘調査報告書』白山町教育委員会　2000年			

No. 91	遺跡名	貝蔵遺跡（３次）	台帳番号	４０５－３２５
所在地	一志郡嬉野町中川		事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合
調査原因	土地区画整理組合		費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合
調査機関	嬉野町教育委員会		担当者	和気清章
調査期間	Ｈ１１．５．２６～Ｈ１１．１．？		調査面積	５，２８６㎡
調査概要	中村川右岸に所在する遺跡である。平成９年に実施した、２次調査の南に位置する。調査では現在まで確認されている水路と古墳時代に属する大型掘立柱建物のほか、北側調査区では奈良時代の大型水路。平安時代末からの方形区画溝などが確認された。また、最下層においては縄文時代晩期の土器棺が２確認された。			
主な遺構	弥生時代～古墳時代：水路、大型掘立柱建物、竪穴住居 奈良時代：大溝、掘立柱建物 平安時代末～鎌倉時代：井戸、方形区画溝			
主な遺物	弥生中期：甕 弥生後期土器・古墳時代・奈良時代：瓦、平安時代末：灰釉陶器			

No. 92	遺跡名	野田遺跡３次調査	台帳番号	４０５－１８１
所在地	一志郡嬉野町野田		事業主体	幸三建設株式会社
調査原因	住宅団地造成		費用負担	嬉野町
調査機関	嬉野町教育委員会		担当者	和気清章
調査期間	Ｈ１１．６．１４～Ｈ１１．７．３０		調査面積	１，２００㎡
調査概要	中村川左岸の低地に所在する遺跡である。平成２年からの調査では弥生時代前期の遺構・遺物が確認されている。今年度調査では奈良時代～鎌倉時代を中心とした溝等が確認された他、近世の瓦が多数確認された。これは主に野田に所在する万徳寺に関する瓦であると推定されるが、現在の境内域と50m以上離れた地点で確認されたことから、旧境内は現在よりも広いものであると推定される。			
主な遺構	奈良時代：大溝・土坑 鎌倉時代：溝・井戸、近世：瓦溜土坑			
主な遺物	須恵器・土師器・瓦			

No. 93	遺跡名	丁ノ坪遺跡	台帳番号	２０８－５７０
所在地	名張市瀬古口字丁ノ坪		事業主体	株式会社エイデン
調査原因	大規模店舗		費用負担	事業者
調査機関	名張市教育委員会		担当者	門田了三・橋本晋吉
調査期間	Ｈ１１．９．１６～Ｈ１１．９．３０		調査面積	６００㎡
調査概要	同時代の拠点集落、黒石遺跡の北側の、より名張川に近い砂地に立地する律令期の竪穴住居群、７世紀後半に廃絶、13世紀に高床住居が条里地割にそってつくられる。			
主な遺構	飛鳥時代：竪穴住居５棟 鎌倉時代：高床住居２棟			
主な遺物	須恵器・土師器			
関連文献	『黒石遺跡付丁ノ坪遺跡』名張市教育委員会　2000.3			

No. 94	遺跡名	黒石遺跡	台帳番号	２０８－１５５
所在地	名張市瀬古口字黒石		事業主体	トステムビバ株式会社
調査原因	大規模店舗		費用負担	事業者
調査機関	名張市教育委員会		担当者	門田了三・橋本晋吉
調査期間	Ｈ１１．７．１９～Ｈ１１．１１．１９		調査面積	４０００㎡
調査概要	名張川南岸の微高地に立地する律令期の大規模集落。弥生中期から後期にかけて方形周溝墓と住居がつくられる。のち、７世紀中ごろに竪穴住居の集落が形成され、８世紀前後に高床住居の建物群にかわる。棟方向は条里地割に沿う。			
主な遺構	弥生時代：方形周溝墓２基、竪穴住居１棟 律令期：竪穴住居40棟以上、高床住居10棟以上			
主な遺物	縄文土器（船元）、弥生土器前・中・後、土師器、須恵器、井戸１基、緑釉陶器、白磁			
関連文献	『黒石遺跡』名張市教育委員会　2000.3			

No. 95	遺跡名	国史跡宝塚古墳1号墳	台帳番号	２０４－１２３
所在地	松阪市宝塚町光町		事業主体	松阪市教育委員会
調査原因	史跡整備にともなう調査		費用負担	松阪市（※）
調査機関	松阪市文化財センター		担当者	福田昭・福田哲也
調査期間	Ｈ１１．６．８～Ｈ１２．３．２９		調査面積	３６０㎡
調査概要	宝塚１号墳の裾部に11ヶ所のトレンチを設定した。 その結果　・全長111ｍであること。 ・造り出しと古墳本体が土橋で結ばれること。 ・盾、家、蓋など豊富な形象埴輪が見つかったが、とりわけ船形埴輪は貴重なものである。			
主な遺構	１段目および２段目葺石、埴輪列、造り出し			
主な遺物	埴輪			

No. 96	遺跡名	安養寺跡	台帳番号	４４２－５２３
所在地	多気郡明和町大字上野字寺屋敷435		事業主体	済生会明和病院
調査原因	病棟の建設		費用負担	事業者
調査機関	明和町教育委員会		担当者	中野敦夫
調査期間	Ｈ１１．６．１０～Ｈ１１．８．９		調査面積	１，８００㎡
調査概要	調査の結果、検出された遺構は奈良時代と1275（永仁５）年、安養寺が建立された鎌倉～室町時代のものに大別される。 ① 奈良時代の土師器焼成坑は、７基確認されているが、床面と思われる焼土が数箇所あるため、かなりあったと予想される。調査地南500ｍには、土師器を焼いた窯がたくさん発見された北野遺跡があり、当該地も北野遺跡から続く微高地で一連のものと考えられる。 ② 調査区中央を南北に走る大溝は、幅約５ｍ、深さ３ｍで、現在の字寺屋敷と字仲畑の字界と一致している。「百間四方のまわりに堀をめぐらしていた」と伝わる「堀」とも考えられる。			
主な遺構	奈良時代：竪穴住居１、土師器焼成坑７、井戸１、土坑２ 鎌倉以降：掘建柱建物３、井戸６、土坑27、大溝１、溝１４			
主な遺物	奈良時代：土師器甕、皿、杯、鍋、土馬 鎌倉以降：土師器鍋、皿、山茶椀、山皿、天目茶碗、五輪塔、瓦、転用硯			
関連文献	『明和町史』明和町　1972年 『明星村考古誌考』鈴木敏雄　1837年			

No. 97	遺跡名	片野殿垣内遺跡（第１次）	台帳番号	４４４－２７
所在地	多気郡勢和村大字片野字殿垣内		事業主体	勢和村
調査原因	土地区画整理		費用負担	勢和村
調査機関	勢和村教育委員会		担当者	田村陽一・下村登良男
調査期間	Ｈ１１．７．１４～Ｈ１１．８．２０		調査面積	１，５００㎡
調査概要	櫛田川右岸の自然堤防上に立地。東西120m、南北400ｍの規模に広がる。調査区は６ヶ所に分かれるが、重複する中世の２時期（鎌倉・室町）の掘立柱建物、土坑などを検出し、当該時期の土師器・瓦器・山茶椀・陶器・磁器などが出土した。その他、遺構はないものの縄文中期末、晩期末の土器が少量出土している。			
主な遺構	鎌倉・室町時代：掘立柱建物、土坑、石組遺構、埋設土器、区画溝			
主な遺物	鎌倉・室町時代：土師器（皿・鍋・羽釜）、山茶椀、山皿、瓦器、磁器 縄文時代：土器（中期末・晩期末）、土製耳飾、石鏃、石錘、石皿、石刀			

No.	98	遺跡名	片野殿垣内遺跡（第２次）	台帳番号	４４４－２７
所在地		多気郡勢和村大字片野字殿垣内		事業主体	勢和村
調査原因		土地区画整理		費用負担	勢和村
調査機関		勢和村教育委員会		担当者	下村登良男・田村陽一
調査期間		Ｈ１１．１１．２８～Ｈ１２．２．１４		調査面積	７５０㎡
調査概要		第１次調査区の南西に隣接する水田750㎡について調査した。第１次調査での所見と同様の時期の遺構・遺物のほか、縄文時代晩期中葉の配石ピットや弥生時代の土坑も検出した。特筆されるのはＬ字状に屈曲する２条の中世大溝で、在地有力者の居館を囲う濠の可能性がある。出土遺物は中世の土器が大半を占めるが、他に縄文土器、石器が少量、弥生土器微量がある。			
主な遺構		鎌倉・室町時代：掘立柱建物、大溝、土坑 縄文時代：配石ピット、弥生時代：土坑			
主な遺物		鎌倉・室町時代：土師器（皿・鍋・羽釜）、山茶碗、山皿、陶器、磁器 縄文時代：土器（晩期中葉）、石鏃、弥生時代：土器			

No.	99	遺跡名	赤土山古墳群	台帳番号	２０３－３３７
所在地		伊勢市鹿海町字赤土山438外		事業主体	株式会社オクノ・テック
調査原因		工場敷地造成及び土砂採取		費用負担	事業者
調査機関		伊勢市教育委員会		担当者	古川　毅
調査期間		Ｈ１１．１０．２８～Ｈ１１．１１．２８		調査面積	４１０㎡
調査概要		本古墳群は方墳と、円墳あるいは方墳の２基で構成された後期古墳で、いずれも約10ｍの規模となる。うち１基には残存良好な埴輪列がみられ、当地方における埴輪文化の再考を提起する貴重な資料となった。また、主体部については掘形１基、周溝内に小石室１基、そして箱式石棺１基を検出したが、棺内からの出土遺物は皆無に近かった。			
主な遺構		古墳２基、主体部掘形１基、小石室１基、箱式石棺１基			
主な遺物		古墳時代：埴輪（形象・円筒）、須恵器、土師器、鉄製品			

No.	100	遺跡名	赤木城跡	台帳番号	５６３－３
所在地		南牟婁郡紀和町赤木		事業主体	紀和町教育委員会
調査原因		史跡赤木城跡保存整備事業		費用負担	紀和町※
調査機関		紀和町教育委員会		担当者	松尾博司
調査期間		Ｈ１１．７．１～Ｈ１１．１１．３０		調査面積	約６００㎡
調査概要		①主郭下段外枡形の調査 枡形石塁部分の内側北面・外側西・南・東面で石積を検出。内側西・南面で石積は検出されず。外側東面の石積は、長さ約24ｍにわたって基底石と２～３段の石積が検出された。枡形内部では、礎石や柱穴及び上段外枡形に登る階段跡の検出を行ったが、明確な遺構は確認できなかった。 ②東郭１の調査 東面石垣は３～７段ほどが残る。南端には横矢掛けがみられ、80㎝ほどの川原石を加工せずに用い、裏込めの栗石が確認された。北面の石垣は１～４段ほどが残る。100㎝ほどの川原石を加工せずに用いている。残存する石垣は築城時に東郭石垣の基礎として設けられ、整地により埋められていると考えられる。			
主な遺構		石垣、建物礎石			
主な遺物		鉄釘数本、土師器皿・16世紀後半の南伊勢系の土師器鍋			
関連文献		紀和町文化財報告1『国史跡赤木城跡発掘調査概要』　紀和町教育委員会1996 紀和町文化財報告2『史跡赤木城跡保存整備事業概要』　紀和町教育委員会1997 紀和町文化財報告3『史跡赤木城跡保存整備事業概要２』　紀和町教育委員会1998 紀和町文化財報告4『史跡赤木城跡保存整備事業概要３』　紀和町教育委員会1999			

No.	101	遺跡名	宇賀新田古墳群	台帳番号	３２３－２２～２５
所在地		員弁郡大安町宇賀新田字前田68		事業主体	大安町
調査原因		県営ふるさと農道整備事業		費用負担	大安町
調査機関		三重大学考古学研究室		担当者	鈴木　信・小林良典
調査期間		Ｈ１１．８．２～Ｈ１１．１１．３０		調査面積	約６００㎡
調査概要		第1次調査として、全部で11基ある古墳のうち1号墳、2号墳、3号墳、4号墳の4基の古墳について調査を実施。その結果、3基の古墳（石室）を確認した。			
主な遺構		墳丘（円墳）、石室（横穴式）、溝：6世紀中頃～7世紀前半			
主な遺物		金環、須恵器平瓶、高杯、椀蓋、鉄製刀子			

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分　試掘調査・工事立会

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担		調査面積	調査概要
仮）南金井遺跡（登録不要）	員弁郡大安町南金井	農業環境事業（住）（梅戸井地区）	県農林水産商工部	78	遺構・遺物なし。施工可
広山Ｂ遺跡（未登録）	員弁郡東員町長深字広山	一般国道475号東海環状自動車道	建設省	372	掘立柱建物・土師器。要本調査 700㎡。
広山遺跡（321-41）	員弁郡東員町長深字広山	一般国道475号東海環状自動車道	建設省	1,242	掘立柱建物。要本調査 1,250㎡。
仮）長深遺跡	員弁郡東員町長深	道路改良	県土整備部	72	遺構・遺物なし。施工可
城ノ谷遺跡（未登録）朝日町	三重郡朝日町埋縄	第二名神	日本道路公団	175	ピット。要本調査 50㎡。
辻子遺跡（343-19）	三重郡朝日町埋縄	送水管付設置川越分水	県企業庁	206	ピット・土坑・山茶椀。工事影響範囲以下に遺跡は残る。
仮）前山西遺跡（登録不要）	四日市市尾平町	道路改良	県土整備部	88	遺構・遺物なし。施工可
山村遺跡（202-249）	四日市市山村町	平成11年度近畿自動車道名古屋神戸線（愛知県境～四日市JCT）	日本道路公団	110	ピット・土坑・土師器片。
西ヶ広遺跡（202-59）	四日市市伊坂町	平成11年度近畿自動車道名古屋神戸線（愛知県境～四日市JCT）	日本道路公団	44	近代の畑境溝。攪乱坑。近世～近代磁器片。調査対象面積 1,500㎡。本調査除外 1,013㎡。用地買収未完による未調査 487㎡。
菟上Ａ遺跡（202-62）	四日市市伊坂町	県道四日市多度線	県土整備部	48	ピット・竪穴住居・溝土坑。調査対象面積 3,000㎡。要本調査 3,000㎡。
菟上Ｂ遺跡（202-247）	四日市市伊坂町	県道四日市多度線	県土整備部	260	溝・土坑・ピット。調査対象面積 6,000㎡。要本調査 4,100㎡。本調査除外面積 1,900㎡。
旧東海道想定地（202-未登録）	四日市市伊坂町	県道四日市多度線	県土整備部	26	遺構・遺物なし。調査対象面積 1,300㎡。本調査除外 1,300㎡。
間ノ田遺跡（202-68）	四日市市広永町	下水道	県土整備部	7	遺構・遺物なし。施工可
北裏遺跡（202-418）隣接地	四日市市赤水町	下水道	県土整備部	4	遺構・遺物なし。施工可
兎上Ａ遺跡（202-62）石塚古墳（202-61）	四日市市伊坂町	道路改良	県土整備部	48	竪穴住居他・弥生土器須恵器。要本調査 2,400㎡。
中村遺跡（202-245）	四日市市中村町	道路改良	県土整備部	68	遺構・遺物なし。施工可
嶋遺跡（202-366）	四日市市水沢町	道路改良	県土整備部	32	遺構・遺物なし。施工可
宮ノ前遺跡（207－855）	鈴鹿市十宮町・河田町	県営ほ場整備事業（河曲中部地区）	県農林水産商工部	584	竪穴住居・土坑・溝ピット。須恵器・土師器。要本調査 27,600㎡。
八重垣神社遺跡（207-1174）	鈴鹿市十宮町・河田町	県営ほ場整備事業（河曲中部地区）	県農林水産商工部		
水巻遺跡(207-850)	鈴鹿市高岡町水巻	県道四日市鈴鹿線	県土整備部	20	流路・土師器皿。羽釜。工事立会い。
山城遺跡（210-155）隣接地	亀山市和田町	下水道	県土整備部	6	遺構・遺物なし。施工可
小下遺跡（210-111）	亀山市小下町	下水道	県土整備部	3	遺構・遺物なし。施工可
平子遺跡（210-251）	亀山市小下町	下水道	県土整備部	3	遺構・遺物なし。施工可
市場遺跡（361－7）	鈴鹿郡関町加太市場	国道25号県単道路改築事業	県土整備部	48	土坑。土師器皿陶器片。要本調査 800㎡。施工可 600㎡。
岸之上遺跡（206-772）	上野市中友生	道路改良	県土整備部	4	遺構・遺物なし。施工可
城之越Ｃ遺跡（登録不要）	上野市比土	農免農道上野南部二期	県農林水産商工部	82	遺構・遺物なし。施工可
山神寄建神社古墳(206-41)	上野市山神	地すべり対策事業（府中５期地区）	県農林水産商工部	34	遺構・遺物なし。施工可

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担		調査面積	調査概要
上野城下町(206-1230)	上野市忍町	街路整備事業	県土整備部	182	土間・ピット・カマド？ 土師器・陶磁器。 工事立会い。 要本調査 1,112㎡。
仮）田野池遺跡	安芸郡芸濃町椋本	農業基盤整備	県農林水産商工部	24	遺構・遺物なし。施工可
前ヶ谷遺跡（201-12） 隣接地	津市一身田	道路改良	県土整備部	6	遺構・遺物なし。施工可
仮）西城山遺跡	津市城山町	下水道	県土整備部	12	遺構・遺物なし。施工可
替田遺跡（201-759）	津市南河路	道路改良	県土整備部	24	遺構・遺物なし。施工可
替田遺跡（201－759）	津市南河路	県営ほ場整備 （津中部）	県農林水産商工部	1,696	ピット・溝。 弥生土器・須恵器・土師器
弐ノ坪遺跡（201－760）	津市野田	県営ほ場整備 （津中部）	県農林水産商工部		ピット・溝。 弥生土器・須恵器・土師器
里前遺跡（201－761）	津市野田	県営ほ場整備 （津中部）	県農林水産商工部		井戸・溝・ピット。 弥生土器・須恵器・土師器
惣作遺跡（201－824）	津市殿村	県営ほ場整備 （津中部）	県農林水産商工部		ピット・土坑・溝。 弥生土器・須恵器・土師器
替田遺跡（201－759）	津市南河路	平成11年度国補特殊改良 事業	県土整備部	24	遺構・遺物なし。
仮）長持古里遺跡 （新発見）	久居市新家町	一般農道事業 （久居東部地区）	県農林水産商工部	109	埴輪・土師器・陶器。 工事対応。
仮）長持古里遺跡 （未登録）	久居市新家町	一般農道久居東部	県農林水産商工部	21	遺物包含層から羽釜・鍋 常滑焼。 要立会調査375㎡。
川口の関想定地 （404-36）	一志郡白山町川口	道路改良	県土整備部	24	ピット・土師器。 要本調査 200㎡。
井ノ尻遺跡（403-223）	一志郡一志町八太	下水道	県土整備部	84	遺構なし。 土師器・山茶椀。施工可
仮）平岩北遺跡	一志郡一志町井関	道路改良	県土整備部	5	遺構・遺物なし。施工可
駒返Ａ・Ｂ古墳群 （405-165他）隣接地	一志郡嬉野町島田	道路改良	県土整備部	88	遺構・遺物なし。施工可
曽原堀之内遺跡隣接地 （登録不要）	一志郡嬉野町須賀	広域農道整備事業 （中勢三期地区）	県農林水産商工部	4	遺構・遺物なし。施工可
市場遺跡（406-60）	一志郡美杉村八知	道路改良	県土整備部	40	遺構・遺物なし。施工可
山本遺跡（406-10）	一志郡美杉村下之川	急傾斜対策	県土整備部	20	遺構・遺物なし。施工可
市場遺跡（406-60）	一志郡美杉村八知	道路改良	県土整備部	8	遺構・遺物なし。施工可
南遺跡（406-91） 隣接地	一志郡美杉村太郎生	道路改良	県土整備部	10	遺構・遺物なし。施工可
南遺跡隣接地 （登録不要）	一志郡美杉村太郎生	国道368号上太郎BP	県土整備部	10	遺構・遺物なし。施工可
仮）諸木城下遺跡 （登録不要）	名賀郡青山町諸木	中山間地域総合整備	県農林水産商工部	43.5	遺構・遺物なし。施工可
黒渕遺跡（未登録）	名賀郡青山町諸木	中山間地域総合整備	県農林水産商工部	175	小穴・瓦器。 要本調査 1,150㎡。
村瀬遺跡(未登録)	名賀郡青山町霧生	中山間地域総合整備事業 (矢持地区)	県農林水産商工部	30	ピット。 要本調査 27,600㎡。
糸川橋遺跡（208-140）	名張市夏見	道路改良	県土整備部	32	遺構・遺物なし。施工可
川島遺跡（新）	松阪市川島町	県営ほ場整備事業 （機殿下地区）	県農林水産商工部	1,070	ピット・土坑・溝・土師器 須恵器・山茶椀・陶器等。 本調査予定 2,700㎡。
大上遺跡（新発見）	松阪市上蛸路町	河川改良	県土整備部	41	溝・土師器・陶器。 要本調査 600㎡。
仮）西町遺跡	松阪市豊原町	道路改良	県土整備部	17	遺構・遺物なし。施工可
萱原通り遺跡 （204－652）	松阪市早馬瀬町	県営ほ場整備 （漕代地区）	県農林水産商工部	110	柱穴・土坑。 土師器・山茶椀。 盛り土対応。
仮）西浦川原遺跡 （登録不要）	松阪市稲木町	県営ほ場整備 （漕代地区）	県農林水産商工部	24	遺構・遺物なし。施工可

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担	調査面積	調査概要
山添遺跡（204－352）	松阪市山添町	県営ほ場整備事業（櫛田地区）　県農林水産商工部	1,371	土坑・溝・塚跡 縄文ピット。 土師器・陶器・縄文土器 石器。 要調査 51,850㎡。
古墳状隆起No.5（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	23	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.6（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	25	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.7（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	3	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.8（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	42	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.9（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	26	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.12（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	21	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.13（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	19	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.14（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	20	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.15（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	30	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.16（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	46	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.17（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	18	遺構・遺物なし。施工可
古墳状隆起No.18（登録不要）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	12	遺構・遺物なし。施工可
斎宮池遺跡（442-693）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	120	遺物包含層確認。 縄文土器・石器多量。 土師器・須恵器少量。 要本調査 900㎡。 今年度 290㎡調査予定。
戸峯B遺跡（442-192）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	60	遺構なし。土師器少量。 試掘不能部分を工事施工に合わせ工事立会い結果施工可
発シB遺跡（442-214）	多気郡明和町有爾中	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	37	溝・ピット・土師器 須恵器。 要本調査 300㎡
養村大塚遺跡（442-231）	多気郡明和町養村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	44	中世土坑２基・土師器 山茶椀
獅子山遺跡（442-642）	多気郡明和町明星	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	37.5	遺構・遺物なし。施工可
獅子山遺跡北隣接地（登録不要）	多気郡明和町養村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	77	遺構・遺物なし。施工可
獅子山遺跡南隣接地（登録不要）	多気郡明和町養村	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	9.1	遺構なし。 土師器片若干出土。施工可
仮）大仏山北麓A遺跡（登録不要）	多気郡明和町明星	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	23	遺構・遺物なし。施工可
仮）大仏山北麓B遺跡（登録不要）	多気郡明和町明星	国営宮川用水第二期土地改良事業　農林水産省東海農政局	51	遺構・遺物なし。施工可
仮）野中東方遺跡（登録不要）	多気町野中～成川	道路改良　県土整備部	22	遺構なし。 土師器。施工可
曽原遺跡（444-58）	多気郡勢和村色太字曽原	近畿自動車道尾鷲勢和線　日本道路公団	260	遺構なし。 攪乱からS字甕出土。 施工可
婦ノミ遺跡（444-68）［旧仮）下林遺跡］	多気郡勢和村土屋	平成11年度中山間地域総合整備事業　県農林水産商工部	46	溝・土坑・柱穴 土師器片。盛土対応。
西野々遺跡（登録不要）	多気郡勢和村土屋	平成11年度中山間地域総合整備事業　県農林水産商工部	24	遺構・遺物なし。施工可
古江城山遺跡（登録不要）	多気郡勢和村古江	平成11年度中山間地域総合整備事業　県農林水産商工部	36	遺構なし。 近世陶器（表土）。 施工可

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担		調査面積	調査概要
滝部遺跡（443-01）	多気郡大台町滝広字山ノ下	近畿自動車道尾鷲勢和線	日本道路公団	55	遺構・遺物なし。 （表採遺物あり） 施工可 （工事用道路部分のみ）
天理教前遺跡（443-37） 隣接地	多気郡大台町栃原	道路改良	県土整備部	15	遺構・遺物なし。施工可
仮）上三本松遺跡	度会郡御薗村高向	道路改良	県土整備部	58	遺構なし。土師器。施工可
南浦遺跡（未登録）	度会郡玉城町佐田	道路改良	県土整備部	48	溝・山茶椀。 要本調査 520㎡。
仮）今新田遺跡	度会郡度会町平生	道路改良	県土整備部	6	遺構・遺物なし。施工可
沖田古墳（登録不要）	度会郡紀勢町宮西字沖田	近畿自動車道尾鷲勢和線	日本道路公団	53.5	遺構・遺物なし。施工可
滝辺Ａ遺跡（登録不要）	度会郡紀勢町阿曽字滝辺	近畿自動車道尾鷲勢和線	日本道路公団	842	遺構・遺物なし。 （表採遺物あり） 施工可
仮）上三本松遺跡	伊勢市中島一丁目	道路改良	県土整備部	90	遺構なし。土師器。施工可
松尾前田遺跡（未登録）	鳥羽市松尾町	道路改良	県土整備部	36	ピット・土坑・土師器 陶器。 要本調査 1,350㎡。
松尾前田遺跡（未登録）	鳥羽市松尾町	道路改良	県土整備部	65	遺構・遺物なし。施工可
甲賀遺跡（524-24） 隣接地	志摩郡阿児町甲賀	道路改良	県土整備部	80	遺構・遺物なし。施工可
真名井神社裏包含地 （522-49）	志摩郡大王町	ふるさと農道整備事業	農林水産商工部	56	土坑・土師器・山茶椀。 本調査予定 350㎡
仮）川瀬遺跡（登録不要）	南牟婁郡御浜町	道路改良	県土整備部	56	遺構・遺物なし。施工可
仮）平瀬遺跡（登録不要）	南牟婁郡御浜町平瀬	道路改良	県土整備部	40	遺構・遺物なし。施工可

各市町担当分　試掘調査・工事立会

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担	調査面積	調査概要
関東遺跡（301-21）	員弁郡多度町柚井	個人住宅	100	遺構・遺物なし。
多度A遺跡（301-43）	員弁郡多度町多度	個人住宅	40.12	遺構・遺物なし。
多度B遺跡（301-44） 宇賀A遺跡（301-27）	員弁郡多度町多度	下水道工事	427.28	遺構・遺物なし。
下野代遺跡（301-95）	員弁郡多度町下野代	個人住宅	400	遺構・遺物なし。
関東遺跡（301-21）	員弁郡多度町柚井	個人住宅	810.91	遺構・遺物なし。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市新町	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市柳原	個人住宅増築		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市元赤須賀	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市八幡町	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市柳原	建売住宅		肥前陶磁器・土師器皿 漆器椀
能部北貝戸遺跡 （205-111）	桑名市大字桑部	工場建設	45	遺構・遺物は確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市掛桶	住宅増築		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
大代遺跡（205-31）	桑名市大字東汰上字大代	道路改良工事（拡幅工事）		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市内堀	個人住宅		肥前陶磁器・土師器皿 漆器椀・下駄・桶底部等が 出土した。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市柳原	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城遺跡（205-100）	桑名市三之丸	個人住宅増築		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
江場城跡（205-127） 寺跡遺跡（205-130）	桑名市江場	下水道工事		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
勢以口遺跡（205-128）	桑名市江場	下水道工事		遺構は確認されず。 山茶椀等が出土。
南浦遺跡（205-59）	桑名市大字志知	下水道工事		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
中縄手遺跡（205-15） 隣接地	桑名市吉野町	下水道工事		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
相川町遺物出土地 （205-101）隣接地	桑名市矢場之町	下水道工事		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城遺跡（205-100）	桑名市吉之丸	物置		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市風呂町	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市宝殿町	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市外堀	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市三崎通	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市殿町	店舗	18	工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市内堀	診療所の増築のため	32	肥前陶磁器・土師器が出土。
桑名城下町遺跡 （205-99）隣接地	桑名市南寺町	店舗併用住宅		工事立会。 肥前陶磁器・土師器が出土。
桑名城下町遺跡 （205-99）隣接地	桑名市			工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-100）	桑名市三之丸	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市元赤須賀	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市内堀	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市外堀	個人住宅増築		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市宝殿町	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市伊賀町	個人住宅		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
桑名城下町遺跡 （205-99）	桑名市開勢町・蛭子町	下水道工事		工事立会。 遺構・遺物確認されず。
江場貝戸遺跡 （205-131）	桑名市大字江場長折	工場	4	遺構は確認されず。 山茶椀等が出土。

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担		調査面積	調査概要
山田遺跡（343-1）	三重郡朝日町柳	土地区画整理事業	朝日町	113	柱穴。土師器・須恵器。 本調査予定。
茂福城跡（202-253）	四日市市茂福町	下水道	四日市市	311	堀跡？
茶臼山古墳群隣接地 （登録不要）	四日市市大字泊村	共同住宅建設	事業者	108	遺構・遺物なし。施工可
垂坂遺跡（202-251）	四日市市大字羽津	宅地造成	事業者	16	遺構・遺物なし。施工可
兎上A遺跡 兎上神社前遺跡隣接地 （登録不要）	四日市市伊坂町	ＮＴＴドコモ鉄塔建設	事業者	18	遺構・遺物なし。施工可
宮蔵遺跡（202-466）	四日市市山田町	宅地造成（足見台エコシティ）	事業者	1,504	遺構・遺物なし。 既に消滅していると 考えられる。 施工可
辻の下遺跡（202-416）	四日市市波木町	宅地造成（足見台エコシティ） 進入道路	事業者	235	遺構・遺物なし。施工可
平尾大池遺跡（202-416）	四日市市平尾町	工場建設	事業者	31	遺構・遺物なし。施工可
東日野遺跡（202-164）	四日市市東日野町	宅地造成	事業者	344	遺構・遺物なし。施工可
大丸遺跡(202-503)	四日市市小牧町	区画整理事業	四日市市	64	遺構・遺物なし。施工可
宮の西遺跡（202-155）	四日市市中川原二丁目	宅地分譲	事業者	48	遺物なし。 土器細片。施工可
西台古墳（202-196）	四日市市河原田町	宅地造成	事業者	64	遺構・遺物なし。施工可
斎宮谷B遺跡 (202-511)	四日市市大矢知町	共同住宅建設	事業者	52	遺構・遺物なし。施工可
久留倍遺跡（202-74）	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設にあたっての 範囲確認	建設省	498	竪穴住居、土坑、溝等。 弥生土器、土師器 須恵器等。 ほぼ遺跡全体に遺構が 広がる。要本調査
茂福城跡（202-253）	四日市市茂福町	宅地造成	事業者	12	遺構なし。 中世陶器・土師器片出土。 慎重工事
東日野遺跡（202-164）	四日市市東日野町	宅地造成	事業者	35	遺構・遺物なし。施工可
北之脇遺跡（202-405）	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	建設省	210	遺構なし。 構成の流れ込みの遺物のみ。 施工可
羽津広遺跡（202-336）	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	建設省	32	遺構・遺物なし。施工可
四方天遺跡（202-496）	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	建設省	48	旧流路？、木製品出土。 周辺の試掘調査の結果で 判断。保留扱い。
久留倍遺跡（202-74）	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	建設省	153	竪穴住居、土坑、溝等。 弥生土器、土師器 須恵器等。要本調査
野田遺跡近接地 (202-262)	四日市市伊坂町	病院建設			工事立会。 遺構・遺物なし。
坪ノ内遺跡（202-143）	四日市市高角町・寺方町	下水道建設			工事立会。 遺構・遺物なし。
七曲遺跡（202-392）	四日市市鹿間町	集落排水建設			工事立会。 中世陶器片のみ。
出口遺跡（202-389）	四日市市鹿間町	集落排水建設			工事立会。 土師器甕片のみ。
大西野遺跡（202-387）	四日市市南小松町	集落排水建設			工事立会。 遺構・遺物なし。
大道端遺跡（202-400） 穴塚古墳群 （202-217・218）	四日市市鹿間町	集落排水建設			工事立会。 遺構・遺物なし。
貝野遺跡（202-124）	四日市市東坂部町	集落排水建設			工事立会。 遺構・遺物なし。
小生遺跡（202-282）	四日市市小生町	下水道建設			工事立会。 遺構なし。遺物細片。
城ノ谷遺跡（202-66）	四日市市広永町	個人住宅			工事立会、遺構・遺物なし。
上野遺跡（202-479）	四日市市西阿倉川町	下水道建設			工事立会、遺構なし。 弥生･土師器破片のみ。
大日山古墳群 （202-145・146）	四日市市寺方町山之瀬古	県単／生活環境保全林機能強化			工事立会、遺構・遺物なし。
西台古墳（202-196）	四日市市河原田町	下水道建設			工事立会、遺構・遺物なし。

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担	調査面積	調査概要
城ノ谷遺跡（202-66）	四日市市広永町	個人住宅		工事立会、遺構・遺物なし。
龍光寺遺跡（207-1193）	鈴鹿市神戸二丁目	住宅建設		工事立会、遺構・遺物なし。施工可
土師南方遺跡（207-384）	鈴鹿市若松西二丁目	住宅建設		工事立会、遺構・遺物なし。施工可
岩ヶ谷遺跡（207-810）	鈴鹿市平野町	住宅建設		工事立会、遺構・遺物なし。施工可
岸岡山Ⅲ遺跡（207-889）	鈴鹿市岸岡町	宅地造成　鈴鹿市※	5.5	遺構・遺物なし。造成時に工事立会。
三日市東遺跡（207-1158）	鈴鹿市三日市町	側溝改良		工事立会、遺構・遺物なし。施工可
須賀遺跡（207-166）	鈴鹿市須賀一丁目	鉄塔建設　鈴鹿市※	3	遺構・遺物なし。施工可
国分北遺跡（207-793）	鈴鹿市国分町	倉庫建設　事業者	9	遺構・遺物なし。施工可
西ノ野遺跡（207-160）	鈴鹿市国府町	住宅建設　鈴鹿市※	12.5	遺構・遺物なし。施工可
国分東遺跡（207-539）	鈴鹿市国分町	倉庫建設　鈴鹿市※	5	柱穴
大鳥居遺跡（207-591）	鈴鹿市郡山町	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
平田遺跡（207-386）	鈴鹿市平田本町一丁目	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
沢遺跡（207-554）	鈴鹿市西條町	共同住宅建設　鈴鹿市※	9	遺構・遺物なし。施工可
保子里遺跡（207-1067）	鈴鹿市国府町	住宅建設　鈴鹿市※	7.5	遺構・遺物なし。施工可
西川遺跡（207-675）	鈴鹿市郡山町	住宅建設　鈴鹿市※	8.5	遺構・遺物なし。施工可
岡田南遺跡（207-1181）	鈴鹿市岡田一丁目	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
国分遺跡（207-838）	鈴鹿市国分町	住宅建設		工事立会。施工可
西ノ野11号墳（207-208）	鈴鹿市国府町	住宅建設　鈴鹿市※	27.5	周溝、須恵器片。本調査実施 120㎡
岸岡山Ⅲ遺跡（207-889）	鈴鹿市片岡町	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
天王遺跡（207-873）	鈴鹿市片岡町	病院増築　事業者	13	溝・柱穴・土師器・須恵器瓦・山茶椀。本調査実施 100㎡
岸岡山Ⅲ遺跡（207-889）	鈴鹿市片岡町	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
岸岡山Ⅲ遺跡（207-889）	鈴鹿市片岡町	宅地造成		工事立会。遺構・遺物なし。No.4の試掘の続き。施工可
国分遺跡（207-838）	鈴鹿市国分町	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
天王遺跡（207-873）	鈴鹿市片岡町	共同住宅建設　事業者	13.5	柱穴。遺物なし。地下保存
西川遺跡（207-675）	鈴鹿市郡山町	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
石薬師東遺跡（207-727）	鈴鹿市石薬師町	住宅建設　鈴鹿市※	13.5	溝・遺物なし。地下保存
天王遺跡（207-873）	鈴鹿市片岡町	住宅建設　鈴鹿市※	10.5	遺構なし。土師器片・須恵器片。施工可
国分遺跡（207-838）	鈴鹿市国分町	住宅建設　鈴鹿市※	5	遺構・遺物なし。施工可
林崎遺跡（207-1178）	鈴鹿市林崎二丁目	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。
国分寺北遺跡（207-536）	鈴鹿市国分町	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
西ノ野遺跡（207-160）	鈴鹿市国府町	住宅建設　鈴鹿市※	8.5	遺構・遺物なし。施工可
岸岡山Ⅲ遺跡（207-889）	鈴鹿市片岡町	公園造成		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
保子里遺跡（207-1067）	鈴鹿市国府町	病院建設　事業者	50	土坑。弥生土器・土師器須恵器。本調査 370㎡
神戸城跡（207-366）	鈴鹿市神戸四丁目	住宅建設		工事立会。施工可
西ノ野遺跡（207-160）	鈴鹿市国府町	住宅建設　鈴鹿市※	7.5	遺構・遺物なし。施工可
高宮城跡（207-606）	鈴鹿市加佐登二丁目	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
石丸野遺跡（207-387）	鈴鹿市平野町	工場増築　鈴鹿市※	1.5	遺構・遺物なし。施工可
長者屋敷遺跡（207-367）	鈴鹿市広瀬町	農業関連　鈴鹿市※	178	基礎地形・土坑・溝・瓦片
沢城跡（207-367）	鈴鹿市西條町	倉庫建設　鈴鹿市※	4.5	柱穴。土師器・常滑甕。工事一時中止

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担	調査面積	調査概要
国分北遺跡（207-536）	鈴鹿市国分町	住宅建設		工事立会。遺構・遺物なし。施工可
大谷茶山遺跡（207-794）	鈴鹿市木田町	住宅建設　鈴鹿市※	3.5	遺構・遺物なし。施工可
山城遺跡（210-155）	亀山市川合町山城、垣内	和田能褒野線　亀山市建設課	48	遺構なし。中世土器。施工可
網中遺跡（210-350）（新規）	亀山市辺法寺町字網中	第二名神　日本道路公団	510	埋甕遺構。本調査 160㎡。
落山遺跡（210-135）	亀山市辺法寺町字網中	第二名神　日本道路公団	350	遺構・遺物なし。 本調査 600㎡。
大増遺跡	亀山市辺法寺町字大増	第二名神　日本道路公団	480	遺構なし。 近代開墾地。施工可
平垣内１号墳（206-1192） （仮）南山出遺跡	上野市長田	送電線　敷設工事　中部電力株式会社	13.5	平垣内１号墳：遺構は検出されず、事業地は遺跡の範囲でないことを確認。 （仮）南山出遺跡：遺構なし遺物は流れ込みと見られる。施工可
上野城下町遺跡（206-1230）	上野市車坂町	分譲宅地造成　株式会社アートハウジング	114	瓦・陶磁器出土。 溝・土坑（時期不明）を検出施工可
古屋敷遺跡（206-1136）	上野市小田町	共同住宅造成　中野茂樹	125.6	瓦・陶磁器出土。甕・高杯（弥生末～古墳初頭） 瓦器、近世陶器出土。 施工可。（削平部分67.5㎡については、発掘調査実施）
清水谷２号墳（206-1136） 城山城跡（206-592）	上野市比土	住宅建設　有限会社山恒	309.5	清水谷２号墳：遺構・遺物は検出されず。事業地内には所在しないことが判明。 城山城跡：堀（幅約４m・深さ約２m、薬研堀）を検出。また、堀の外側で土坑検出。土師器・磁器出土。城跡部分については現状保存。その他については施工可。
荒堀長川館跡（206-598）	上野市比自岐	農村公園整備工事	14	堀の一部を検出。 瓦器細片・土師器（中世～江戸）出土。施工可
北長野遺跡（206-228） 中井遺跡（206-1075） （隣接）	上野市上之庄	ＮＴＴファルコン設置用敷地造成　日本電信・電話株式会社		遺構・遺物なし。施工可
上野城跡（206-358） （野崎新平城内役所跡）	上野市丸之内	共同住宅新築　筒井艶子		陶磁器・瓦出土。施工可
国史跡上野城跡（206-358）	上野市丸之内	桜植樹　上野公園桜整備協会		藤堂本丸南部：瓦・鉄製品・陶磁器出土。 北谷長屋跡西部：瓦・陶磁器を含む遺物包含層及び陶器・磁器・土師器・瓦を伴う土坑を確認。 本丸登城口付近：瓦・陶器出土。 城代家老屋敷跡下の郭東部：瓦・陶器・土師器・磁器が出土。ピット及び遺物包含層を検出。
喜春遺跡（206-818） 天王下館跡（206-517） 喜春東館跡（206-518）	上野市佐那具町	宅地造成　矢合建設		遺構・遺物なし。施工可
横山遺跡（206-790） （隣接）	上野市蓮池	防火水槽設置　上野市		遺構・遺物なし。施工可
官舎遺跡（206-346）	上野市西高倉	農業集落排水　上野市		遺構・遺物なし。施工可
上野城下町遺跡（206-1230）	上野市車坂町	宅地造成　株式会社アートハウジング		遺構・遺物なし。施工可
立岡遺跡（206-418） （隣接）	上野市四十九町	集合住宅建設　中森 勇		遺構・遺物なし。施工可
森田氏宅跡（206-418） （隣接）	上野市猪田	農業集落排水　上野市		遺構なし。土師器片出土。
清水遺跡（206-37）	上野市大野木	防火水槽設置　上野市		遺構・遺物なし。施工可
寺垣内遺跡（206-221）	上野市長田	防火水槽設置　上野市		遺構・遺物なし。施工可

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因・費用負担		調査面積	調査概要
尾ノ上遺跡（206-338）	上野市西高倉	農業集落排水	上野市		遺構・遺物なし。施工可
菊永氏館跡（206-504）（隣接）	上野市猪田	防火水槽設置	上野市		土師器（中世～江戸）を含む包含層を確認。遺構なし。施工可
平塚遺跡（384-662）	安芸郡安濃町大字戸島	住宅建設		31	土坑。試掘調査。工事立会。
多倉田遺跡（384-534）	安芸郡安濃町大字川西	資材置場		57	大溝・溝・土坑。試掘調査。工事立会。
藤ヶ森城（384-597）	安芸郡安濃町大字川西	県治山事業		60	柱穴。土塁・漆・銅銭97枚（中国銭）。工事立会。
平塚遺跡（384-662）	安芸郡安濃町大字戸島	工業団地造成			試掘調査。工事着手。
岡副遺跡（384-736） 岡南５号墳（384-109）	安芸郡安濃町大字川西	土取り		6	土坑。試掘調査。工事着手。
大谷古墳（384-585）	安芸郡安濃町大字太田	宅地造成		141.5	埋葬施設。本調査の指導未定
徳居古窯址群９号古窯址（381－3）	安芸郡河芸町大字三行乗毛谷740	杜の街	事業者		遺構なし。遺物須恵器２片。措置書に基づき工事を行う。
仮）北阿漕田遺跡（登録不要）	津市大字津興	宅地造成	事業者	8	土師器細片。遺構なし。施工可
育生小校庭遺跡（201-261）	津市大字津興	宅地造成			工事立会。遺構・遺物なし。施工可
尺目遺跡（201-359）	津市大字半田	宅地造成	事業者	12	遺構・遺物なし。施工可
向山遺跡（201-797）	津市高茶屋小森町	宅地造成	事業者	48	遺構・遺物なし。施工可
牛下シ遺跡（201-838）	津市高茶屋小森町	宅地造成	事業者	18	遺構・遺物なし。施工可
雲出島貫遺跡（201-484）	津市雲出島貫町	市道拡幅	津市	40	遺構不明確。古式土師器。
桶田２号墳（201-314）	津市片田長谷場町	神社参道の整備	津市	2	遺構・遺物なし。施工可
小野江・甚目遺跡（407-3）	一志郡三雲町大字小野江	店舗建設	事業者	84	土師器片・山茶椀片・墳砂痕施工可
上ノ庄宮ノ腰遺跡（407-26）	一志郡三雲町大字上ノ庄	給油所建設	事業者	8	遺構・遺物なし。施工可
奥津広垣内遺跡（406-107）	一志郡美杉村奥津	ＮＴＴドコモアンテナ設置	事業者	4.5	遺構・遺物なし。
川上広垣内遺跡（406-123）	一志郡美杉村川上	ＮＴＴドコモアンテナ設置	事業者	3	遺構・遺物なし。
境ヶ瀬Ｂ遺跡（406-79）	一志郡美杉村太郎生	ＮＴＴドコモアンテナ設置	事業者	2	遺構・遺物なし。
（仮）宮垣内遺跡（501-248）	名賀郡青山町川上字宮垣内	川上ダム建設	事業者	分布調査：8,000 試掘調査：700	中近世墓 ２基、土師器皿片陶磁器・古銭２枚（寛永通宝）・キセル。 本調査 200㎡
（仮）二ツ山遺跡（登録不要）	多気郡多気町大字森荘字林沖川浦	宅地造成	事業者	112	遺構・遺物なし。施工可
片野殿垣内遺跡（444-27）	多気郡勢和村片野	土地区画整理事業	勢和村	200	ピット・土坑・土師器 縄文土器・石器。 協議中
船戸遺跡（444-34）	多気郡勢和村片野	土地区画整理事業	勢和村	56	ピット・溝・縄文土器 土師器。協議中
北山遺跡（461-393）	度会郡玉城町下田辺字土山	土砂採取	事業者	700	遺構・遺物は確認できず。弥生時代後期の集落跡や古墳時代後期の古墳跡の存在が想定。施工可
杉山遺跡（461-377） 隣接地 小社遺跡（461-272） 近隣地	度会郡玉城町岡出字里前通り	砂利採取	事業者	96	明確な遺構・遺物確認できず施工可
高野御前遺跡（203-113）	伊勢市有滝町	耕地区画整備		88	堀削箇所に遺構・遺物なし。
茶臼塚遺跡（203-79）	伊勢市有滝町	伊勢北部土地改良区			堀削箇所に遺構・遺物なし。
拓ヶ広遺跡（登録不要）	伊勢市宇治浦田町	店舗建設	事業者	130	遺構・遺物なし。

Ⅲ　埋蔵文化財保護体制の充実

1　各種会議

〔三重県埋蔵文化財担当者会議〕

当埋蔵文化財センターのほか、県教育委員会生涯学習課文化財保護室・斎宮歴史博物館及び市町村の埋蔵文化財担当者による技術研修や情報交換を目的として、平成11年度は次の4回を開催した。

	開催日	場所	内容
第1回	平成11年4月27日	斎宮歴史博物館	・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・講演「埋蔵文化財保護行政の現状と課題」 文化庁記念物課　坂井 秀弥氏
第2回	平成11年7月7日	ハートフルみくも スポーツ文化センター	・埋蔵文化財調査の成果と課題 ・遺跡調査におけるデジタル管理について コンピュータ・システム株式会社・有限会社シンエイ測器 ・講演「発掘調査現場における健康管理」 県総務局職員課福利厚生室　林 志津子氏 ・発掘調査現地視察 舞出北遺跡（県埋文センター） 雲出島貫遺跡（県埋文センター）
第3回	平成11年9月27日	四日市市立博物館	・埋蔵文化財調査の成果と課題 ・「民間発掘調査機関導入の現状」 三重県埋蔵文化財センター　杉谷 政樹 ・「発掘された日本列島' 99」「三重の発掘展」見学
第4回	平成12年3月13日	斎宮歴史博物館	・埋蔵文化財調査の成果と課題 ・市町村がかかえる課題と展望 ①事例発表1「北畠氏館跡発掘調査の現状と展望」 美杉村教育委員会　石淵 誠人氏 ②事例発表2「赤土山古墳群発掘調査の経過とその後」 伊勢市教育委員会　古川　毅氏 ③講演「小規模自治体における埋蔵文化財保護行政」」 山梨県明野村埋蔵文化財センター　佐野　隆氏

〔三重県埋蔵文化財連絡調整会議〕

県及び市町村の埋蔵文化財保護行政に諸問題について協議・情報交換を行うとともに、長期計画・展望について意見交換を行うことを目的として、平成11年度は次の2回を開催した。

	開催日	場所	内容
第1回	平成11年11月4日	斎宮歴史博物館	・文化財保護行政推進検討委員会中間報告 ・「民間発掘調査組織の取扱いについての指針（案）」について ・遺跡カードの書式と提出時期など
第2回	平成12年3月6日	斎宮歴史博物館	・埋蔵文化財保護にかかる県と市町村との役割分担について ・文化庁委員会報告「埋蔵文化財の事前協議と本発掘調査の実施計画（報告）案」について

〔全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会関係の会議〕

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会が主催する会議・研修会に職員を派遣し、他機関との交流や技術研修を行っている。平成11年度は次の会議等に参加した。

名称	内容	期日	場所	出席者
平成11年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	平成10年度事業報告について　その他	平成11年5月27・28日	北海道苫小牧市 「ホテル・イーストジャパン」	山澤 義貴 本堂 弘之
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第12回研修会	研修テーマ『出土文化財の公開と活用』	平成11年10月21・22日	兵庫県神戸市 「舞子ビラ」	森川 幸雄 水谷　豊
平成11年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会東海・北陸ブロック会議	民間機関の導入について　その他	平成11年11月24・25日	三重県松阪市 「松阪グリーンホテル」	山澤 義貴 田阪　仁 野原 宏司 森川 幸雄

2　埋蔵文化財発掘技術者研修

〔職員研修〕

職員の技術的向上を目的に、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターが実施する埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修を随時受講させている。

内　　容	期　　間	受講者
埋蔵文化財発掘技術者専門研修『保存科学課程』	平成11年7月22日～8月5日	角正 淳子
埋蔵文化財発掘技術者専門研修『報告書作成課程』	平成12年1月12日～1月22日	山口　格
埋蔵文化財発掘技術者専門研修『荘園遺跡調査課程』	平成12年3月14日～3月17日	倉田 文美 水谷　豊

〔埋蔵文化財発掘技術者研修（教員研修）〕

昭和 42 年度以来、県下の学校教員を対象として、埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術の習得を目的とする研修事業を実施している。平成 11 年度は次の２名が県埋蔵文化財センター及び県内発掘調査現場において研修を行った。昭和54年度から平成11年度までに76名が研修を終了した。

平成11年度研修員

山口 聡嗣　　鈴鹿市立白鳥中学校　　打田久美子　鈴鹿市立大木中学校

平成11年度研修内容

月	研　　修　　内　　容
4	研修ガイダンス、室内講義、遺物実測実習、分布調査実習、発掘調査実習（中島遺跡）
5	発掘調査実習（石薬師東遺跡）
6	発掘調査実習（石薬師東遺跡）、遺物実測実習、分布調査実習
7	発掘調査実習（力尾城跡・北蟻越遺跡）、遺物実測実習
8	発掘調査実習（力尾城跡・北蟻越遺跡・古轡通りＢ遺跡）、室内講義
9	発掘調査実習（力尾城跡・北蟻越遺跡・天花寺城跡ほか）、室内講義、遺物実測実習、試掘調査実習
10	発掘調査実習（門ノ上遺跡）、室内講義
11	発掘調査実習（門ノ上遺跡・国分北遺跡・コドノＢ遺跡ほか）、室内講義、試掘調査実習
12	発掘調査実習（替田遺跡・金剛坂遺跡）、室内講義
1	発掘調査実習（城堀遺跡・金剛坂遺跡）、室内講義、分布調査実習、報告書作成実習
2	報告書作成実習
3	報告書作成実習、拓本実習

室内講義内容

月 日	内　　容	担 当 者
4月 2日	遺物概論	竹田 憲治
4月 5日	埋蔵文化財の保護	山澤 義貴
	埋蔵文化財センターの役割	田阪　仁
	最近の発掘調査から①	山田　猛
	時代概論①：旧石器時代・縄文時代	松葉 和也
4月 6日	時代概論②：弥生時代・古墳時代	前川 嘉宏
	最近の発掘調査から①	吉水 康夫
4月 7日	時代概論③：奈良時代・平安時代	田阪　仁
	時代概論④：中近世	竹田 憲治
4月 8日	試掘・本発掘調査の立案と積算・法令	前川 嘉宏
4月 9日	遺跡の発見から試掘調査まで	竹田 憲治
	発掘調査から報告書まで	松葉 和也
4月 12日	遺跡からみた北勢地方の歴史	前川 嘉宏・杉谷 政樹
4月 13日	遺跡からみた中勢地方の歴史	田阪　仁・本堂 弘之
4月 14日	遺跡からみた南勢地方の歴史	松葉 和也・筒井 正明
4月 15日	遺跡からみた伊賀地方の歴史	竹田 憲治
8月 31日	遺物各論①：旧石器時代・縄文時代	松葉 和也
9月 30日	報告書の体裁	竹田 憲治
	遺物各論②：木製品	穂積 裕昌
10月 29日	遺物各論③：須恵器（古墳時代）	服部 芳人
	遺物各論④：土師器（古墳時代）	新名　強
11月 30日	遺物各論⑤：古代の土器	尾野 公恵
	遺物各論⑥：瓦	河北 秀実
12月 27日	遺物各論⑦：中世の陶器	前川 嘉宏
	遺物各論⑧：土師器	伊藤 裕偉
1月 31日	遺物各論⑨：弥生土器	小濱　学
2月 29日	保存処理	角正 淳子
3月 7日	遺物写真撮影	本堂 弘之

〔埋蔵文化財発掘技術町村職員研修〕

町村教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘技術を研修し、文化財保護行政に資するための研修を実施している。本年度は次の２件を実施した。

所属・氏名	種　別	内　　容	期　　間
浅川 充弘 （朝日町教育委員会）	講座 Ⅰ 講座 Ⅱ	文化財保護法の概要、分布調査実習ほか 発掘調査実習ほか	平成11年4月1日～4月30日 平成11年6月1日～7月30日
中西秀貴 （玉城町教育委員会）	講座 Ⅰ	文化財保護法の概要、分布調査実習ほか	平成12年1月17日～2月16日

３　埋蔵文化財保護等に関する指導・協力

依 頼 者	内　　容	期　　日
朝日町教育委員会	土地区画整理事業にかかる埋蔵文化財の取扱い指導	4月 1日～ 3月31日
美杉村教育委員会	北畠氏館跡ほかの発掘調査指導	4月 1日～ 3月31日
三雲町教育委員会	松本権現前遺跡発掘調査報告書作成指導	4月 1日～ 7月30日
四日市市立博物館	四日市市博物館資料委員会委員の委嘱	4月 1日～ 3月31日
紀勢町教育委員会	民間大規模土砂採取事業にかかる埋蔵文化財の取扱い指導	4月13日
四日市市教育委員会	資料の整理に関する指導	5月 7日
鳥羽市教育委員会	自然崩落が進む白浜貝塚の取扱い指導	5月12日
大安町教育委員会	公会所移転にかかる宇賀新田古墳群の取扱い指導	5月14日
文化庁記念物課	埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査協力者会議	6月 3日～ 6月 4日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡発掘調査・整備指導	6月18日～ 3月31日
勢和村教育委員会	土地区画整理事業にかかる埋蔵文化財の取扱い指導	7月 2日
勢和村教育委員会	土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査指導	7月14日～ 8月31日
大山田村教育委員会	村道改良に伴う鳳凰寺遺跡発掘調査及び報告書作成指導	7月21日～ 9月30日
松阪市教育委員会	史跡宝塚古墳保存整備指導委員委員会への出席	7月30日
三雲町教育委員会	埋蔵文化財詳細分布調査及び発掘調査の報告展示会指導	8月 1日～ 8月31日
二見町教育委員会	安養寺跡発掘調査報告書作成指導	8月17日～ 3月31日
文化庁記念物課	埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査協力者会議	8月19日～ 8月20日
勢和村教育委員会	片野殿垣内遺跡発掘調査の整理・報告書作成指導	8月25日～ 3月31日
上野市教育委員会	上野城跡発掘調査指導	9月 6日
伊勢市教育委員会	赤土山古墳群発掘調査指導	10月28日～12月21日
芸濃町教育委員会	埋蔵文化財詳細分布調査指導	11月 1日～ 3月31日
文化庁記念物課	埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査協力者会議	11月25日～11月26日
嬉野町教育委員会	貝蔵遺跡出土墨書土器検討委員会への出席	11月29日
玉城町教育委員会	土砂採取事業に伴う土山遺跡試掘調査指導	12月 7日
松阪市教育委員会	史跡宝塚古墳出土品に関する指導	12月14日・1月20日
藤原町教育委員会	町上水道貯水場建設に伴う東禅寺廃寺発掘調査の取扱い指導	12月15日
勢和村教育委員会	土地区画整理事業に伴う片野殿垣内遺跡発掘調査指導	1月 4日～ 3月31日
鈴鹿市教育委員会	長者屋敷遺跡ほか発掘調査事業に関する指導	1月13日
文化庁記念物課	埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査協力者会議	1月17日～ 1月18日
大台町教育委員会	町水道タンク移設工事にかかる川合城跡の取扱い指導	1月28日
北勢教育事務所	平成11年度第２回北勢地区文化財保護担当者研修会の講師	1月18日
文化庁記念物課	埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査協力者会議	2月21日～ 2月22日
白山町教育委員会	町道整備にかかる川口北方遺跡の取扱い指導	3月23日

〔発掘技術者研修(教員対象)実施要項〕

平成11年度埋蔵文化財発掘技術者研修実施要項

1　目　的

埋蔵文化財の発掘調査および保存についての専門的知識と技術の習得に務めようとする者を、三重県埋蔵文化財センターにおいて研修を実施し、埋蔵文化財の保護体制の強化に資することを目的とする。

2　主　催

三重県教育委員会

3　担　当

三重県埋蔵文化財センター

4　期　間

平成11年4月1日～平成12年3月31日までの12か月間

5　場　所

・多気郡明和町竹川　　三重県埋蔵文化財センター

・県内各発掘調査現場

6　人　員

4名

7　参加資格

(1) 県内の公立小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の教員のうちで、原則として大学において考古学・歴史学を専攻、もしくは発掘調査の経験を有する者。

(2) 健康で現場作業に従事することのできる者で、原則として昭和37年4月以降生まれである者。

8　研修内容

(1) 講義

総論　・文化財の保護

各論　・文化財保護法

・史跡および埋蔵文化財保護の現状

・発掘調査方法

調査計画、墳墓・集落・生産所・窯・宮殿・官衙・寺院跡の調査

・遺物調査方法

実測原理、土器・土製品・石器・木製品・瓦の観察と整理、人骨・動植物遺体の調査

・関係学概説

建築構造、測量、保存科学、文献史学

・報告書作成方法　等

(2) 実習

・発掘調査実習、測量実習、遺構実測実習、写真撮影実習、遺物保存処理実習等

9　講　師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

10　その他

(1) 研修者の出張旅費は、県の旅費規程にしたがって支給する。

(2) 研修期間中は、当該学校に対し常勤講師の補充がなされる予定である。

(3) 研修を修了した者には、修了証書を交付する。

平成１１年度　研修年間計画概要

内容	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内会議　Ⅰ	文化財の保護行政	―											
室内会議　Ⅱ	埋文調査の基礎知識	―											
基本実習	遺物実測・拓本実習	―											
	測量調査実習		―										
発掘調査	調査計画立案法（実習）		―										
	調査準備法（実習）		―										
	遺構検出法（実習）			―	―	―	―	―	―	―			
	遺構写真法（実習）									―			
	遺構実測法（実習）									―			
分布調査	分布調査実習									―	―		
試掘調査	試掘調査実習										―	―	
室内講義　Ⅲ	遺物各論												―
報告書作成	遺物整理法（実習）										―		
	遺構整理法（実習）									―	―		
	記述原理										―	―	
	報告書編集法（実習）											―	―
施設・主要遺跡見学													
研修場所		―		―		―		―		―		―	

〔町村職員研修実施要項〕

埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修実施要項

1　目　的

この要項は、各町村において文化財保護行政を担当する者に対して、埋蔵文化財の発掘調査に関する専門的知識と技術について研修(以下「研修」という。)を行うことにつき、必要な事項を定めるものとする。

2　研修の主体

研修は、三重県埋蔵文化財センターが行う。

3　研修の場所

研修の場所は、三重県埋蔵文化財センターおよび県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等とする。

4　研修の対象

研修の対象者(以下「研修員」という。)は、町村教育委員会文化財保護行政担当職員、もしくはこれに準ずる者とする。

5　研修員の決定

(1) 町村教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調書」を三重県埋蔵文化財センター所長(以下「所長」という。)に提出するものとする。

(2) 所長は、研修希望調書をもとに選考のうえ研修員を決定し、町村教育委員会教育長に通知するものとする。

6　研修の内容

研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。

7　修了証書の交付

所長は、研修員が全研修課程を修了したと認めるときは、修了証書を交付する。

8　研修に要する経費

(1) 研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。

(2) 所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。

9　その他

前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

(附　則)

この要項は、平成6年4月1日から施行する。

(別　表)　埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修　研修内容

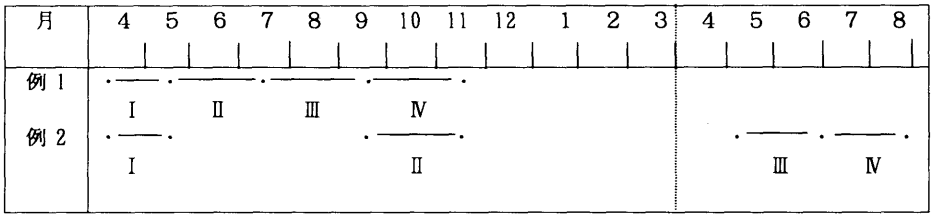
講座名	期　間	研　　修　　内　　容
講座Ⅰ	1か月間	○文化財保護法の概要　○埋蔵文化財の判定　○試掘調査の立案と実習
講座Ⅱ	2か月間	○発掘調査の立案と実習　○遺構の実測と写真撮影実習
講座Ⅲ	2か月間	○発掘調査資料の整理実習　遺構図面・写真の整理　出土遺物の整理　遺物実測
講座Ⅳ	2か月間	○報告書作成に関する実習　遺物写真撮影　遺物・遺構図版の作成

〔注〕

(1) 講座・については、講座修了者と同等の技術を有すると所長が認めた場合は省略することができる。

(2) 各講座の取得方法および実施時期は研修員派遣期間と協議の上決定する。

（参　考）
受　講　例



（別紙様式）

第　　号
平成　　年　　月　　日

三重県埋蔵文化財センター所長　様

町村教育委員会教育長　　印

研　修　希　望　調　書

埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修を次のとおり希望します。

希望する講座名				
研修派遣期間		年　月　日から　年　月　日まで		
研修希望職員	職　氏（ふりがな）名		性別	男・女
	生年月日(年齢)	（　歳）		
	現職年数	年　（　年　月　以来）		
	最終学歴	学校名（　学部　学科）		
	発掘調査経験 (参加遺跡名)	有　無 （　）		
その他希望事項				

Ⅳ　資料の整理・保管・公開

1　資料の整理・保管

平成 11 年度の各事業別出土品量の概数は下表のとおりであり、その整理は埋蔵文化財センター及び受託事業現場整理所等で行っている。出土品の保管については、原則として再検討・貸出等利用頻度の高いものを埋蔵文化財センター内の収蔵庫に、その他のものは各地収蔵庫に保管している。

一方、実測図面・写真フィルム類についても出土品と同様に整理し収蔵庫１に保管している。また、受贈図書は約２，０７９冊あり、図書室及び埋蔵文化財センター内の図書棚に分類保管して職員の利用に供している。

〔平成 11 年度出土品量（概数）〕

事業名		今年度出土量
県事業関係		2，660
受託事業関係	東海環状建設関係	25
	中勢道路建設関係	527
	第二名神建設関係	914
	その他	33
埋蔵文化財センター分　計		4，159
斎宮歴史博物館分		80
合　計		8，398

＊　数量は、平成 11 年度末時点の量をコンテナバット（55 cm×35 cm×15 cm）に収納した場合の箱数である。

＊　平成 11 年度出土分は、正式収蔵時に再整理するため、その時点で箱数が変動する。

＊　出土品保管量については、収蔵スペースの確保のために出土品収納方法の見直しと再収蔵を実施したことにより、前年度数量より減少している。

〔出土品保管状況（概数）〕

施設名		出土品保管量
各地収蔵庫	桜橋収蔵庫	21，512
	藤方収蔵庫	6，329
	上野収蔵庫	3，308
	高茶屋収蔵庫	1，639
受託現場整理所（一時保管）	東海環状整理所	475
	中勢道路整理所	3，746
	第二名神整理所	1，050
	玉城整理所	530
埋蔵文化財センター内	収蔵庫１	189
	収蔵庫２	3，440
	仮設収蔵庫	2，572
埋蔵文化財センター分　計		44，790
斎宮歴史博物館	収蔵庫２	11，543
合　計		56，333

2　科学的保存処理

埋蔵文化財センターには、出土品の保存処理を実施するため保存科学室１（木製品保存処理）にＰＥＧ樹脂含浸装置２基、保存科学室２（金属製品保存処理）に減圧樹脂含浸装置１基ほかが設置されている。また、中勢道路整理所にもＰＥＧ含浸装置１基が設置されている。

専任の担当職員は配置されていないが、保存処理技術を研修した職員等が保存処理にあたっている。

3　資料の公開

〔出版物の刊行〕

発掘調査報告書・発掘調査概報・埋蔵文化財展パンフレットのほかに『平成 10 年度三重県埋蔵文化財年報』『三重県埋蔵文化財センター研究紀要９』『三重県埋文センター通信みえ』No.27・28・29 等を刊行し、関係機関等へ配布している。

〔現地説明会〕

発掘調査の途中あるいは終了時に、県民の文化財保護への理解を深めるため現地説明会を開催し、その調査結果について報告を行っている。当埋蔵文化財センターが調査主体となった発掘調査の現地説明会は次表の通りである。

〔現地説明会等一覧〕

遺　跡　名	所　在　地	担当課	開催日	参加人数
観音沖遺跡（地元説明会）	鈴鹿群関町新所町	調査第一課	H11. 6.20	46名
雲出島貫遺跡	津市雲出島貫町	調査第一課	H11. 7.20	180名
上惣作遺跡	員弁郡北勢町阿下喜	調査第二課	H11. 7.24	70名
古轡通りＢ遺跡	松阪市早馬瀬町	調査第一課	H11. 7.25	110名
南遺跡（地元説明会）	一志郡美杉村太郎生	調査第一課	H11. 9.18	80名
舞出北遺跡：上層	一志郡三雲町舞出	調査第二課	H11.10.16	100名
伊坂遺跡（報告会）	四日市市伊坂町	調査第二課	H11.10.31	90名
辻子遺跡	三重郡朝日町埋縄	調査第二課	H11.11.21	120名
菟上遺跡	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 1.16	350名
西ヶ広遺跡	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 1.16	250名
伊坂城跡	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 1.29	370名
山村遺跡	四日市市山村町	調査第一課	H12. 1.29	220名
舞出北遺跡：下層	一志郡三雲町舞出	調査第二課	H12. 2.19	40名
勢武谷経塚・勢武谷遺跡	亀山市木ノ下町	調査第二課	H12. 3. 4	100名
合　計		１２遺跡　１４件		2,126名

〔三重県庁舎内県民ホールでの常設展示〕

県内各地の発掘調査で出土した各種出土品を三重県庁の県民ホールで常設展示し、貴重な歴史的遺産である埋蔵文化財を、より広範な県民に公開する目的で平成 10 年度から実施している。展示資料としては、話題性に富むもの、地域の歴史文化の特色をあらわすもの、全国的に注目されるものなどの観点から、毎回数点を選び、簡単で分かりやすい解説をつけて展示している。展示内容は年３～４回更新するものとし、今年度は、平成 11 年 3 月 19 日～同年 6 月 21 日まで鈴鹿市石薬師古墳群出土馬形埴輪、平成 11 年 6 月 21 日～同年 12 月 2 日まで津市納所遺跡出土弥生土器、平成 11 年 12 月 2 日～平成 12 年 4 月中旬（予定）まで大安町経塚中世墓出土蔵骨器を展示した。

〔三重県埋蔵文化財展〕

三重県埋蔵文化財展は、昭和 56 年から三重県教育委員会が主催して、各市町村を会場に毎年実施してきた。平成元年度からは三重県埋蔵文化財センターが主催し、三重県が実施した発掘調査の成果および市町村主体の発掘調査の成果を展示して広く県民に公開し、生涯教育の一環として埋蔵文化財保護思想の普及公開に努めている。平成 11 年度は、文化庁主催の「発掘された日本列島' 99」の近畿地方での開催地として四日市市立博物館が選ばれたことから、それと同時に開催する「地域展」に「第 19 回三重県埋蔵文化財展」をあて、「三重の発掘展」というテーマを設定して、四日市市立博物館と共同開催した。入場者数は 5,693 人であった。

第１９回 三重県埋蔵文化財展「三重の発掘展」

1　「三重の発掘展」概説

三重県は紀伊半島の東部を占め、伊勢湾から熊野灘までの長い海岸線と、鈴鹿・笠置・大台の山々、そして、その間の伊勢平野や伊賀盆地など変化に富んだ地形を有しています。このような自然に恵まれた風土は、太古からの人々の生活を潤し、この地方特有の文化を創り上げてきました。一方、三重県は西日本と東日本の境目に位置することから、海岸線沿いの海の道と、内陸部の陸の道を利用した、西から東へ、東から西への人々やモノのルートとして大きな役割を果たしてきました。また、奈良時代から江戸時代までは、「伊勢」、「志摩」、「伊賀」、「紀伊」の４国に分かれており、それぞれの独自性を持っていることはご承知のとおりです。

今回の「三重の発掘展」は、このような三重県の多様性を示す資料を、近年の発掘調査の成果から集めました。「展示Ⅰ」では、全国的に注目された日本最古とされる土偶や、墨書・刻書土器、馬形埴輪をはじめ、縄文時代から古墳時代の集落拠点、古墳、古代の役所、中近世の港町・城下町など、県内の調査成果を紹介します。「展示Ⅱ」は四日市市特集です。昨年に発見され、話題を集めた銅鐸片をはじめ、市内の近年の発掘調査成果を紹介します。

2　主　　催　　三重県埋蔵文化財センター
　　四日市市立博物館
3　期　　間　　平成11年9月26日(日)～平成11年10月17日(日)
　　開館時間　9：30～17：00（金曜日は9：30～20：00）
　　休館日　水曜日
4　会　　場　　四日市市立博物館 特別展示室　　四日市市安島一丁目3番16号
5　記念講演　・日時　平成11年10月3日(日)　14：00～16：00
　　・場所　四日市市立博物館　講座室
　　・講師　奈良国立文化財研究所 飛鳥藤原跡発掘調査部
　　資料室室長　毛利光 俊彦氏
　　・演題「飛鳥池遺跡を語る」

展示資料一覧

遺跡名	所在地	資料名	管理者
粥見井尻遺跡	飯南町	土偶	三重県埋蔵文化財センター
史跡 天白遺跡	嬉野町	土偶、石棒	三重県埋蔵文化財センター
小谷赤坂遺跡	嬉野町	弥生土器(絵画土器)	三重県埋蔵文化財センター
大城遺跡	安濃町	弥生土器(「奉」刻書)	安濃町教育委員会
宮山遺跡	大安町	石斧、石斧未製品	三重県埋蔵文化財センター
片部遺跡 貝蔵遺跡	嬉野町	弥生土器(絵画土器)、S字状口縁台付甕、木製品(形代)、土師器小型丸底壺(「田」墨書)	嬉野町教育委員会
六大A遺跡	津市	弥生土器(壺、瓢形壺、絵画土器)、初期須恵器(器台、四連壺)、韓式系土器(把手付鍋、甕)、直弧文入柄頭・鞘尻、黒漆塗飾弓、滑石製品(子持勾玉、勾玉、紡錘車、有孔円板)	三重県埋蔵文化財センター
石薬師東古墳群	鈴鹿市	馬形埴輪	三重県埋蔵文化財センター
坂本古墳群	明和町	須恵器(横瓶、提瓶、　、杯身、杯蓋、高杯、大甕)	明和町教育委員会
史跡 斎宮跡	明和町	緑釉陶器(把手付甕、椀)、灰釉陶器長頸壺、須恵器(「膳」墨書)、土師器(ひらがな墨書・習書)、越州窯青磁椀	斎宮歴史博物館
伊勢国府跡	鈴鹿市	軒丸瓦、軒平瓦、文字瓦、鬼瓦	鈴鹿市考古博物館
伊賀国府跡	上野市	円面硯、風字硯、緑釉陶器(唾壺、椀、皿)	三重県埋蔵文化財センター
雲出島貫遺跡	津市	青磁椀、白磁(椀、皿)	三重県埋蔵文化財センター
安濃津遺跡群	津市	山茶椀、貿易陶磁器、銭貨、スタンプ	三重県埋蔵文化財センター
多気遺跡群	美杉村	パネル展示	美杉村教育委員会
桑名城跡 桑名城下町遺跡	桑名市	鬼瓦、土師器、陶器、磁器、木製品	桑名市教育委員会
金塚遺跡	四日市市	銅鐸片、ガラス玉	三重県埋蔵文化財センター
山奥遺跡	四日市市	弥生土器(高杯、甕)、須恵器特殊扁壺、土製模造鏡	四日市市教育委員会
公事出古墳群 公事出遺跡	四日市市	須恵器(杯、皿)、灰釉陶器(椀、皿)、山茶椀、山皿	四日市市教育委員会
茶臼山古墳	四日市市	円筒埴輪、巫女埴輪、須恵器(台付四連杯、器台、甕)	四日市市教育委員会
広永横穴墓群	四日市市	須恵器(平瓶、高杯、杯身)、丸玉	三重県埋蔵文化財センター
米田遺跡	四日市市	鬼板、山茶椀(墨書)、香炉、花瓶	四日市市教育委員会

4　保管出土品等の貸出・写真等の掲載及び閲覧

資料名	申請者	目的	期間	許可日
上箕田遺跡遺物	鈴鹿市考古博物館	企画展で使用	4/10～7/15	4/ 9
川原井瓦窯ほか遺物閲覧	高浜市やきものの里かわら博物館	特別展開催にかかる資料調査	4/20	4/20
粥見井尻遺跡ほか写真	朝日新聞社	『古代史発掘 1996～1998 新遺跡カタログ』vol.5に掲載		4/22
力尾城跡写真	菰野町教育委員会	町広報紙5月号に掲載		4/22
西出遺跡ほか遺構実測図	関西縄文文化研究会	研究会「関西の縄文住居」資料集に掲載		5/ 6
千里ヶ丘遺跡他写真	河芸町教育委員会	『河芸町史』編纂		5/21
宮ノ腰遺跡ほか写真	三雲町史編纂会	『三雲町史』に掲載		5/28
天白遺跡遺物	鈴鹿市考古博物館	特別展示で展示	7/12～9/17	5/31
桐山瓦窯ほか遺物・写真	高浜市やきものの里かわら博物館	特別展示で使用	7/12～9/3	5/31
天白遺跡ほか遺物・写真	高浜市博物館	特別展で使用	9/15～11/10	6/ 4
梁瀬遺跡写真	津市教育委員会	「津市政だより」に掲載		6/ 4
長遺跡遺構写真ほか	三重情報㈱	情報誌『ルック三重』7･8月号に掲載		6/ 4
中ノ庄遺跡ほか遺物実測図	三雲町史編纂会	『三雲町史』に掲載		6/ 7
図書の閲覧	小島孝修	北勢縄文遺跡資料の収集	6/10	6/10
亀谷郡C遺跡遺物閲覧	小林義孝	資料調査	6/18	6/18
井田川茶臼山古墳遺物写真ほか	島根県八雲立つ風土記の丘資料館	企画展で使用	10/1～11/30	6/23
雲出島貫遺跡ほか写真	津市教育委員会	展覧会で使用	7/1～7/20	6/24
辻子遺跡遺構写真ほか	朝日町	町勢要覧に掲載		6/25
粥見井尻遺跡写真	飯南町教育委員会	社会教育関係研修会で使用		6/25
鳥居本遺跡ほか遺物閲覧	長友朋子	個人研究	6/25	6/25
内垣内遺跡遺物閲覧	佐藤宏之	個人研究	6/25	6/25
東野B遺跡ほか遺構図面	田村陽一	『三重県史考古編』に掲載		7/ 1
木ノ下古墳遺物閲覧	群馬県立博物館	企画展資料調査	7/9	7/ 9
雲出島貫遺跡遺物	津市教育委員会	展覧会で使用		7/13
阿形遺跡遺物ほか閲覧	和田年弥	金石文調査	7/13	7/13
大石遺跡遺構写真ほか	芸濃町教育委員会	郷土展示ホールで展示	7/15～8/31	7/15
所蔵埴輪閲覧	埴輪研究会	見学会	7/17	7/16
里前遺跡写真	富士写真フィルムDIソフト開発部	「ワークショップ」展示に利用	7/27・7/28	7/27
粥見井尻遺跡ほかスライド	奥義次	ふるさと探訪講座で使用	7/28～8/12	7/28
城之越遺跡構写真複製及び頒布	(財)放送大学教育振興会	番組「発掘された古代日本」の複製・頒布		8/ 2
六大A遺跡遺物ほか	安濃町教育委員会	展覧会で使用	8/3～11/7	8/ 3
納所遺跡遺物写真	三重情報㈱	情報誌『ルック三重』9･10月号に掲載		8/ 9
松葉遺跡遺物閲覧	奥義次	勢和村史作成	8/16	8/16
石薬師東古墳群遺物写真	朝日新聞社出版局	『発掘された日本列島'95～'99』に掲載		8/26
木ノ下古墳遺物	群馬県立博物館	企画展で使用	8/26～12/10	8/26
城之越遺跡遺物ほか	岐阜県博物館	特別展で使用	8/27～12/15	8/27
六大A遺跡遺物閲覧	小林寛子	卒業論文作成	9/6	9/ 6
石薬師東古墳群遺物	鈴鹿市考古博物館	企画展で使用	9/28～12/10	9/ 9
天白遺跡遺物写真	雄山閣出版㈱	『季刊考古学』第69号に掲載		9/10
石薬師東古墳群写真	鈴鹿市考古博物館	企画展で使用	9/10～10/1	9/10
図書閲覧	志水秀俊	卒業論文作成	9/10	9/10
北野遺跡遺物等閲覧	大分市教育委員会	資料調査	9/13	9/13
高皿遺跡遺物閲覧	西田和浩	卒業論文作成	9/13～9/16	9/13
粥見井尻遺跡遺物写真	㈱小学館	『日本歴史事典』第2巻に掲載		10/ 7
森脇遺跡ほか遺物	上野市教育委員会	城之越遺跡学習館で展示	10/13～12/10	10/12
金剛坂遺跡ほか遺物・写真	朝日町歴史博物館	特別展で使用	10/18～12/10	10/18
城之越遺跡ほか遺物閲覧	(財)京都府埋蔵文化財調査センター	資料調査	10/20・10/21	10/20
新徳寺遺跡ほか遺物	一志町立川合小学校	授業で使用	10/22	10/21
大石遺跡ほか写真	皇學館大學考古学研究会	大学祭展示で使用	10/22～11/10	10/22
中ノ庄遺跡ほか遺物閲覧	豊橋市教育委員会	企画展開催にかかる資料調査	11/12	11/ 5

資料名	申請者	目的	期間	許可日
粥見井尻遺跡遺物写真	㈱新書館	小林達雄著『縄文人の文化力』に掲載		11/ 8
森山東遺跡ほか写真	東京法令出版㈱	中学校副教材『ビジュアル歴史　三重県版』に掲載		11/ 8
位田遺跡ほか遺物閲覧	早野浩二	資料調査	11/11	11/11
粥見井尻遺跡遺物・写真	鹿児島県歴史資料センター黎明館	特別展で使用	11/15～1/31	11/15
雲出島貫遺跡遺物閲覧	海津一朗	資料調査	11/19	11/19
弥助窯跡遺物閲覧	(財)東京都埋蔵文化財センター	資料調査	12/13	11/24
谷山古墳ほか遺物	鈴鹿市考古博物館	企画展で使用	12/1～3/10	11/24
谷山古墳ほか写真	鈴鹿市考古博物館	企画展で使用	11/29～12/5	11/29
阿形遺跡ほか遺物・写真	松阪市文化財センター	企画展で使用	12/1～4/21	11/30
木ノ下古墳遺物写真	群馬県立歴史博物館	博物館紀要第21号に掲載		12/ 6
明気窯跡写真	東京法令出版㈱	中学校副教材『ビジュアル歴史　三重県版』に掲載		12/ 6
久居窯跡群ほか遺物閲覧	槙原康剛	卒業論文作成	12/14・12/15	12/14
天白遺跡ほか遺物	豊橋市美術博物館	特別展で使用	12/20～3/31	12/14
香良洲西山遺跡写真	香良洲町教育委員会	香良洲町歴史資料館で展示		12/24
粥見井尻遺跡土偶写真	㈱ポプラ社	『調べ学習　日本史』に掲載		12/27
辻子遺跡遺物写真	谷口由美	副読本『わたしたちの朝日町』に掲載		12/28
六大A遺跡遺物閲覧	平田浩康	卒業論文作成		12/28
徳居窯跡群遺物実測図	河芸町教育委員会	『河芸町史』に掲載		1/11
大鼻遺跡ほか遺物閲覧	矢野健一	資料調査	1/18	1/18
報告書『安濃津』	伊藤裕偉	『日本史学年次別論文集』1999年版に収録		1/19
粥見井尻遺跡ほか遺物閲覧	村井　昇	資料調査		1/24
四日市市関係資料閲覧	四日市市教育委員会	四日市市遺跡情報システム構築のため	1/25	1/25
金剛坂遺跡遺物閲覧	永井宏幸	資料調査	1/27	1/27
山茶椀閲覧	清水政宏	資料調査	1/27	1/27
愛知県産中世陶器閲覧	愛知県総務部県史編纂室	愛知県史編纂	1/31・2/1	1/28
六大A遺跡遺物閲覧	浜中有紀	資料調査	1/28	1/28
阿形遺跡遺物閲覧	仲野政民	資料調査	1/28	1/28
深長古墳ほか遺物閲覧	君嶋俊行	論文執筆	1/31	1/31
井田川茶臼山古墳遺物・写真	さいたま川の博物館	特別展で使用		1/31
雲出島貫遺跡遺物写真	四日市市立博物館	研究紀要に掲載		2/ 1
石薬師東古墳群ほか写真	鈴鹿市考古博物館	速報展で使用		2/ 1
粥見井尻遺跡ほか写真	勉誠出版㈱	『土偶研究の地平4』に掲載		2/ 1
雲出島貫遺跡遺物写真	津市教育委員会	『津市民文化』27号に掲載		2/ 7
本郷遺跡遺物実測図	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター	研究紀要に掲載		2/ 7
図書閲覧	高瀬佳代子	資料調査	2/15	2/15
石薬師東古墳群ほか写真	鈴鹿市考古博物館	インターネット遺跡情報に掲載		2/22
勝地大坪遺跡遺物閲覧	久保勝正	資料調査	3/3	3/ 1
粥見井尻遺跡ほか写真	㈱山川出版社	『三重県の歴史』に掲載		3/16
舞出北遺跡ほか写真	美杉村教育委員会	企画展で使用	3/17～3/31	3/16
戸木城跡ほか遺物	美杉村教育委員会	企画展で使用	3/17～3/31	3/17
雲出島貫遺跡遺物	小畑和弘	資料調査	3/18	3/18
安濃津遺跡群遺物	中井淳史	資料調査	3/18	3/18
宮山遺跡ほか遺物閲覧	石黒立人	資料調査	3/24	3/21
大塚C1号墳ほか遺物撮影	田中秀和	資料調査	3/23	3/21
金剛坂遺跡遺物閲覧	和気清章	資料調査	4/8	3/23
図書閲覧	佐藤由紀男	資料調査	3/27	3/24
雲出島貫遺跡写真	山口　格	『埋文写真研究』第11号に掲載		3/24
川原井遺跡遺物写真	㈱至文堂	『越州窯青磁と緑釉・灰釉陶器』に掲載		3/24
納所遺跡竪櫛写真	Gunther Heckmann Nihon Art Publishers	論文に掲載		3/30

5　保管出土品等の長期貸出

資　料　名	申　請　書	目　的
山王遺跡出土遺物一括	桑名市教育委員会	市民への資料公開
落川原遺跡石帯 1 点	四日市市立博物館	四日市市立博物館で展示公開
丹生川上城跡出土白磁小壺等 14 点	朝日町歴史博物館	朝日町歴史博物館で展示公開
東庄内 B 遺跡出土土器及び炭化米	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市稲生民俗資料館で展示公開
東庄内 A 遺跡出土土器等 41 点	鈴鹿市考古博物	鈴鹿市考古博物館で展示公開
正知浦遺跡出土石器等 298 点及び井田川茶臼山古墳出土遺物一括	亀山市歴史博物館	亀山市歴史博物館で展示公開
赤坂遺跡出土土器等 8 点	芸濃町教育委員会	芸濃町総合文化センターで展示公開
多気遺跡群土井沖地区出土瓦等 20 点	美杉村教育委員会	美杉村ふるさと資料館で展示公開
鴻ノ木遺跡出土土器等 3 点	松阪市教育委員会	松阪市文化財センターで展示公開
井尻遺跡・若宮遺跡出土土器等 27 点	勢和村ふるさと交流館	勢和村立資料館で展示公開
寺垣内遺跡出土土器 5 点	明和町教育委員会	明和町立ふるさと会館内で展示公開
城之越遺跡出土土器等 15 点	上野市教育委員会	城之越遺跡　城之越学習館で展示公開
陶器壺（蓄銭容器）等 157 点	地方職員共催組合三重県支部	榊原保養所神湯館で展示公開
北野遺跡出土土器 4 点	斎宮歴史博物館	斎宮歴史博物館で展示公開

V　県、市町村別の発掘調査件数及び面積の実績

（昭和45～63年分は『三重県埋蔵文化財センター年報4』参照）

		三重県埋蔵文化財センター担当							斎宮歴史博物館担当	その他の県組織担当	市町村担当								合計
		農林水産商工部関係	県土整備部関係	県関係その他	建設省関係	道路公団関係	国・公団関係その他	小計			土地改良等	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取り等	その他	小計	
平成元年度	件数	106	3	0	10	9	0	128	21	0	3	12	1	13	4	3	15	51	200
	面積	43,445	6,234	0	34,780	40,408	0	124,867	11,471	0	1,800	15,900	300	30,500	6,800	3,400	16,200	74,900	211,238
平成2年度	件数	61	15	2	7	10	0	95	11	0	9	9	2	20	10	5	13	68	174
	面積	43,765	8,696	648	31,372	18,790	0	103,271	5,697	0	16,900	19,700	3,500	27,900	15,400	8,000	17,300	108,700	217,668
平成3年度	件数	67	30	1	10	2	0	110	8	0	9	14	2	40	13	0	14	92	210
	面積	39,412	7,388	8	15,428	3,052	0	65,288	5,534	0	13,700	10,100	10,200	51,800	12,400	0	9,800	108,000	178,822
平成4年度	件数	50	29	0	15	0	0	94	9	0	6	13	4	38	17	3	28	109	212
	面積	29,210	9,864	0	17,485	0	0	56,559	3,954	0	13,700	14,000	15,600	15,400	45,200	500	8,000	112,400	172,913
平成5年度	件数	63	33	2	18	0	0	116	13	0	15	12	0	29	7	3	35	101	230
	面積	26,178	10,507	1,436	21,384	0	0	59,505	4,760	0	15,200	13,300	0	20,000	22,000	200	20,000	90,700	154,965
平成6年度	件数	75	45	2	18	0	1	141	9	0	10	14	0	31	3	8	37	103	253
	面積	32,256	11,475	2,000	31,178	0	816	77,725	3,770	0	24,347	8,651	0	13,788	830	440	20,511	68,567	150,062
平成7年度	件数	69	47	13	17	0	2	148	5	0	9	15	0	29	6	4	43	106	259
	面積	29,221	12,369	8,249	37,783	0	2,000	89,622	3,425	0	18,191	10,717	0	5,252	2,947	1,001	18,457	56,565	149,612
平成8年度	件数	67	70	25	19	1	0	182	10	0	10	23	0	157	3	6	40	239	431
	面積	15,293	19,252	18,176	30,054	160	0	82,935	3,986	0	21,293	6,769	0	43,038	842	1,325	19,324	92,591	179,512
平成9年度	件数	37	81	8	6	6	2	140	11	0	24	31	0	81	2	9	72	219	370
	面積	21,709	34,383	6,193	18,601	2,637	3,345	86,868	4,155	0	34,484	34,810	0	11,157	124	322	13,396	94,293	185,316
平成10年度	件数	30	72	5	9	13	21	150	6	1	7	27	0	114	4	5	99	256	413
	面積	19,088	36,400	2,558	9,241	26,771	3,677	97,735	2,025	48	5,123	18,432	0	29,527	5,605	5,788	23,111	87,586	187,394
平成11年度	件数	31	62	6	4	16	23	142	8	0	17	27	0	106	7	3	53	213	363
	面積	16,158	30,587	8,204	3,484	43,452	1,643	103,528	3,622	0	14,449	11,030	0	12,317	3,844	802	14,351	56,793	163,943

〔付1〕　平成11年度 三重県文化財調査員名簿

地区	氏名	勤務地	専門	備考
北勢	松本　覚	白瀬小学校	埋蔵文化財	長島町・木曽岬町および員弁郡全般
	鎌田　雅生	三重平中学校	埋蔵文化財	菰野町・楠町・朝日町・川越町・関町
	川添　護	杉の子養護学校	天然記念物	桑名市・桑名郡・員弁郡・三重郡
	桐生　定己		天然記念物	四日市市・鈴鹿市・亀山市・鈴鹿郡
	嶋村　明彦		建造物	中勢管内と兼務
	園田　純子		彫刻等	中勢管内と兼務
中勢	服部　久士	津東高等学校	埋蔵文化財	美里村・白山町
	三浦　儀直	天白小学校	埋蔵文化財	河芸町・香良洲町
	下村　純也		天然記念物	
	嶋村　明彦		建造物	北勢管内と兼務
	園田　純子		彫刻等	北勢管内と兼務
松阪	増田　安生	飯南西中学校	埋蔵文化財	多気町・飯南町・飯高町
	奥　義次	度会高等学校	埋蔵文化財	大台町・宮川村・勢和村
	三井　博之		天然記念物	
	松月　久和	伊勢工業高等学校	建造物	南志管内と兼務
	藤田　直信		彫刻等	南志管内と兼務
南勢・志摩	大西　素行	穂原小学校	埋蔵文化財	二見町・小俣町・御薗村
	北畠　充生	南島中学校	埋蔵文化財	大宮町・大内山村・紀勢町
	田村　陽一	相可高等学校	埋蔵文化財	南勢町・南島町
	越賀　弘幸	五ヶ所中学校	埋蔵文化財	玉城町・度会町
	村上　喜雄	弘道小学校	埋蔵文化財	鳥羽市・大王町
	角谷　泰弘	五十鈴中学校	埋蔵文化財	磯部町・志摩町・浜島町阿児町
	橋本　清	伊勢高等学校	天然記念物	伊勢市・度会郡
	岡　與一		天然記念物	鳥羽市・志摩郡
	松月　久和	伊勢工業高等学校	建造物	松阪管内と兼務
	藤田　直信		彫刻等	松阪管内と兼務
上野	市田　進一		埋蔵文化財	大山田村・島ヶ原村
	寺岡　光三		埋蔵文化財	阿山町・伊賀町
	松月　茂明		天然記念物	オオサンショウウオ
	杉澤　学	美旗小学校	天然記念物	
	滝井　利彰		建造物	
	瀧川　和也		彫刻等	
尾鷲	津田　雄一郎	相賀小学校	埋蔵文化財	埋蔵文化財
	山本　和彦	長島高等学校	天然記念物	埋蔵文化財
	田崎　通雅		建造物・彫刻等	天然記念物
熊野	福村　直人	新鹿小学校	埋蔵文化財	
	花尻　薫		天然記念物	
	岩本　直樹	入鹿小学校	建造物・彫刻等	建造物・彫刻等

平成11年度

三重県埋蔵文化財年報

2000・11

編集
発行　三重県埋蔵文化財センター

印刷　㈲第一プリント社